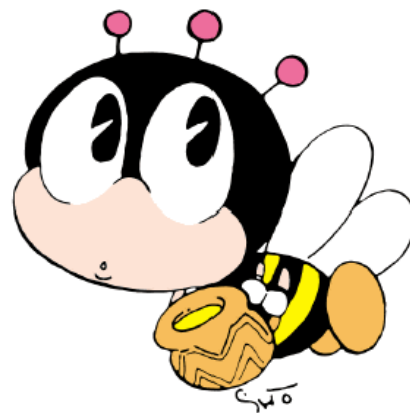


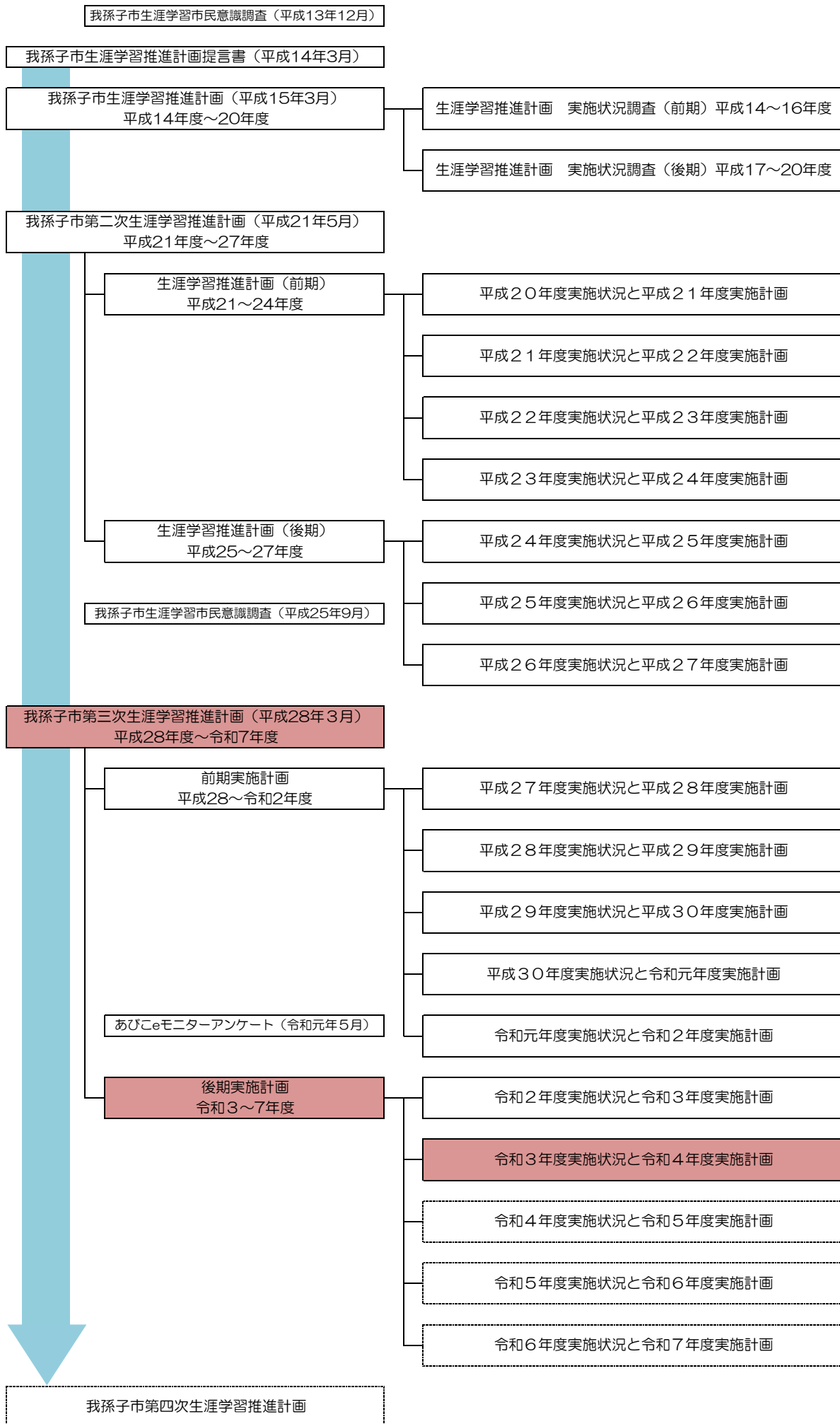
# 生涯学習推進計画 実施計画 事業調査集計表

～令和3年度及び令和4年度実施内容～



令和4年10月

# 我孫子市生涯学習推進計画のあゆみ



## 計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁	
1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり（37事業）	①学びへの情報提供体制の充実（19事業）	1 暮らしの便利帳・ガイドブックの発行	秘書広報課	1	
		2 広報「あびこ」の編集・発行	秘書広報課	1	
		3 男女共同参画情報紙の発行	秘書広報課	1	
		4 財政情報の提供	財政課	1	
		5 食に関する情報の提供及び啓発の充実	健康づくり支援課	2	
		6 バリアフリー情報提供事業	障害者支援課 (障害者福祉センター)	2	
		7 子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営	子ども支援課	2	
		8 子育て支援情報の発信	保育課	3	
		9 手賀沼情報の提供	手賀沼課	3	
		10 都市計画に関する情報の提供	都市計画課	3	
		11 都市計画図等の作成・管理事務	都市計画課	3	
		12 景観形成情報発信・啓発事業	都市計画課	4	
		14 住宅情報の総合的提供	建築住宅課	4	
		15 水道広報活動推進事業	水道局経営課	5	
		16 生涯学習情報の発信	生涯学習課	5	
		18 あびこ電腦考古博物館の運営	文化・スポーツ課	5	
		19 図書館における郷土・行政資料サービス	図書館	6	
		20 図書館の情報化推進	図書館	6	
		21 鳥の博物館ホームページの運営	鳥の博物館	6	
		②学びにつなげるための相談体制の充実（6事業）	22 生涯学習相談体制の整備【再掲153】	生涯学習課	7
			23 生涯学習人材バンクの整備【再掲129】	生涯学習課	7
	24 生涯学習ボランティア【再掲131】		生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館	7	
	25 視聴覚教材・機材の管理及び貸出【再掲164】		生涯学習課	8	
	26 図書館カウンターサービス		図書館	8	
	27 図書館利用に障害のある方へのサービス		図書館	8	
	③学びへの関心を高めるための啓発の充実（12事業）	28 交通安全普及啓発活動の推進	市民安全課	9	
		29 集団健康教育	健康づくり支援課	9	
		30 健康フェア【再掲174】	健康づくり支援課	9	
		31 廃棄物に関する教育啓発事業	クリーンセンター	9	
		32 石けん利用の推進	商業観光課	10	
		33 小学校『歯磨き・食育指導』事業	学校教育課	10	
		34 生涯学習推進計画事業実施状況調査	生涯学習課	10	
		35 生涯学習推進委員会の運営	生涯学習課	10	
		36 健康スポーツ普及事業	文化・スポーツ課	11	
		37 読書普及活動	図書館	11	
		38 図書館PR	図書館	12	
		39 鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動	鳥の博物館	12	

## 計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁	
2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり（53事業）	①地域への関心を高める学びの機会の推進（14事業）	41	子どもの居場所づくり事業（あびっ子クラブ）〔再掲177〕	子ども支援課	13
		42	谷津ミュージアムづくり推進事業	手賀沼課	13
		43	手賀沼船上学習の実施	手賀沼課	13
		44	手賀沼流域フォーラムの開催	手賀沼課	13
		45	ジャパンバードフェスティバルの開催〔再掲175〕	手賀沼課、商業観光課、鳥の博物館	14
		46	地区計画制度の活用の支援	都市計画課	14
		47	我孫子産農産物の学校給食導入事業	学校教育課	14
		49	市史調査研究	文化・スポーツ課	15
		50	郷土芸能への支援〔再掲147〕	文化・スポーツ課	15
		51	文化財の指定調査と保存支援	文化・スポーツ課	15
		52	埋蔵文化財発掘調査	文化・スポーツ課	16
		53	考古遺物整理	文化・スポーツ課	16
		54	あびこ自然観察隊	鳥の博物館	16
		55	てがたん（手賀沼の自然観察会）	鳥の博物館	16
	②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供（19事業）	56	子どもNPOボランティア体験	市民協働推進課	17
		57	後期離乳食教室	健康づくり支援課	17
		58	しあわせママパパ学級	健康づくり支援課	17
		59	離乳食教室	健康づくり支援課	17
		60	手賀の丘フレンドシップツアー	子ども支援課	18
		61	あびこ子どもまつり〔再掲150〕	子ども支援課	18
		62	げんきフェスタ〔再掲151〕	子ども支援課	18
		64	子育て支援施設における講習	保育課	18
		65	こども議会	指導課	19
		66	長寿大学〔再掲154〕	生涯学習課	19
		67	成人式	生涯学習課	19
		68	熟年備学	生涯学習課	20
		69	家庭教育学級〔再掲155〕	生涯学習課	20
		70	のびのび親子学級〔再掲156〕	生涯学習課	20
		71	アビコでなんでも学び隊	生涯学習課	21
		72	子どものための舞台鑑賞事業	文化・スポーツ課	21
		73	成人・青少年への図書館サービス	図書館	21
		74	児童への図書館サービス	図書館	22
		75	子どもの読書活動推進計画の進行管理	図書館	22
		③多様化・高度化する市民ニーズに対応した学習内容の充実（20事業）	76	男女共同参画講演会の実施	秘書広報課
	77		平和事業	企画政策課	23
	78		健康づくりに関する専門家によるセミナー	健康づくり支援課	24
	79		メンタルヘルス啓発講座	障害者支援課	24
	80		失語症家族教室	障害者支援課 （障害者福祉センター）	24
	81		手話講習会・読話講習会	障害者支援課 （障害者福祉センター）	24
	82		家族介護教室	高齢者支援課	25
	83		認知症の方の家族のつどい「あびこ」	高齢者支援課	25
	84		介護予防講演会	高齢者支援課	25
	85		高齢者虐待防止講演会	高齢者支援課	25
	86		遊具うんどう教室	高齢者支援課	26
	87		環境学習の推進	手賀沼課	26
	88		消費生活講座	商業観光課	27
89	緑の講習会		公園緑地課	27	
90	栄養教諭・栄養職員を中核とした食育推進事業		学校教育課	27	
91	生涯学習出前講座の運営〔再掲127〕		生涯学習課	28	
92	生涯学習推進事業	生涯学習課	28		
93	人権教育	生涯学習課	29		
95	スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～〔再掲167〕	文化・スポーツ課	29		
96	鳥の博物館企画展の実施	鳥の博物館	29		

## 計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
3 多様な学びの場のあるまちづくり (27事業)	①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 (23事業)	97 市民農園維持管理事業	農政課	30
		98 親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム)	手賀沼課	30
		100 新たな文化交流拠点施設整備の検討	企画政策課、生涯学習課	30
		101 地域交流教室の提供	生涯学習課	31
		102 公民館施設管理運営	生涯学習課	31
		104 フリースポット(Wi-Fi)の提供	生涯学習課	31
		105 施設予約システムの運用	生涯学習課、文化・スポーツ課、市民協働推進課	32
		106 市民体育館管理運営	文化・スポーツ課	32
		107 体育施設管理運営事業、維持補修	文化・スポーツ課	32
		108 武道施設の建設整備の検討	文化・スポーツ課	32
		109 市民体育館維持補修、改修事業	文化・スポーツ課	33
		110 学校体育施設開放事業	文化・スポーツ課	33
		111 ふれあいキャンプ場管理運営	文化・スポーツ課	33
		112 文化財等の保存と活用	文化・スポーツ課	33
		113 杉村楚人冠邸の保存と活用	文化・スポーツ課	34
		114 旧井上家住宅の保存と活用	文化・スポーツ課	34
		115 白樺文学館の運営	文化・スポーツ課	34
		117 移動図書館業務	図書館	35
		118 図書館の整備	図書館	35
		119 図書館会議室及び展示スペースの提供	図書館	35
		120 鳥の博物館管理運営	鳥の博物館	36
		122 鳥の博物館展示リニューアル	鳥の博物館	36
		186 文化財保存活用地域計画の推進	文化・スポーツ課	36
②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用 (4事業)	123 手賀沼ふれあいウォーク	健康づくり支援課	37	
	124 近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進	文化・スポーツ課	37	
	125 手賀沼エコマラソン支援事業【再掲148】	文化・スポーツ課	37	
	126 市外図書館・大学・関係機関との連携協力【再掲183】	図書館	37	
	127 【再掲】生涯学習出前講座の運営	生涯学習課	38	
	128 生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録	生涯学習課	38	
	129 【再掲】生涯学習人材バンクの整備	生涯学習課	38	
4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり (17事業)	①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充 (6事業)	130 アビスタ利用者保育スタッフ事業	生涯学習課	38
		131 【再掲】生涯学習ボランティア	生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館	38
		132 文化事業市民スタッフの活用	文化・スポーツ課	38
		133 防災士及び災害救援ボランティア育成事業	市民安全課	39
		135 介護予防サポーター養成講座	高齢者支援課	39
		136 子育てサポーター養成講座	保育課	39
	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充 (6事業)	137 環境レンジャー活動への支援	手賀沼課	40
		138 緑のボランティアの森づくり	公園緑地課	40
		140 生涯学習審議会委員の研修	生涯学習課	40
		143 市民参加型コンサート	文化・スポーツ課	41
		144 文化祭	文化・スポーツ課	41
③学んだ成果を評価するしくみの構築 (5事業)	146 めるへん文庫	文化・スポーツ課	41	
	147 【再掲】郷土芸能への支援	文化・スポーツ課	41	
	148 【再掲】手賀沼エコマラソン支援事業	文化・スポーツ課	41	

## 計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
5 学びでつながるまちづくり（37事業）	①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実（8事業）	149 市民のチカラまつりの実施	市民協働推進課	42
		<b>150</b> 【再掲】 あびこ子どもまつり	子ども支援課	42
		<b>151</b> 【再掲】 げんきフェスタ	子ども支援課	42
		152 学校支援事業の充実	指導課	42
		153 【再掲】 生涯学習相談体制の整備	生涯学習課	42
		154 【再掲】 長寿大学	生涯学習課	42
		155 【再掲】 家庭教育学級	生涯学習課	42
		156 【再掲】 のびのび親子学級	生涯学習課	42
	②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成（13事業）	158 在住外国人支援事業	企画政策課	43
		159 公募補助金制度の運用	市民協働推進課	43
		160 市民公益活動補償制度の運用	市民協働推進課	43
		161 資源循環型社会に関する市民講座への派遣	クリーンセンター	44
		162 我孫子市創業支援等事業	企業立地推進課	44
		163 市民の学習活動への支援	生涯学習課	45
		164 【再掲】 視聴覚教材・機材の管理及び貸出	生涯学習課	45
		165 社会教育団体活動支援	生涯学習課	45
		166 文化芸術団体活動支援	文化・スポーツ課	45
		167 【再掲】 スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～	文化・スポーツ課	45
		168 施設・団体への図書等の貸出サービス	図書館	46
		169 鳥に関する学習への支援	鳥の博物館	46
		170 鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援	鳥の博物館	46
	③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築（16事業）	171 我孫子市国際交流協会(AIRA)との連携	企画政策課	47
		172 消費生活展の実施	商業観光課	47
		173 エンジョイ手賀沼	手賀沼課	47
		174 【再掲】 健康フェア	健康づくり支援課	47
		175 【再掲】 ジャパンバードフェスティバルの開催	手賀沼課、商業観光課、鳥の博物館	47
		176 青少年相談員連絡協議会への支援	子ども支援課	48
		<b>177</b> 【再掲】 子どもの居場所づくり事業(あびっ子クラブ)	子ども支援課	48
		178 子育てフェスタ	保育課	48
		179 学校評議員設置事業	学校教育課	48
		180 大学との協定による学校支援学生ボランティア事業	指導課	48
		181 キャリア教育の推進(小中学生の職場体験学習事業)	指導課	49
		182 生涯学習審議会の運営	生涯学習課	49
		183 【再掲】 市外図書館・大学・関係機関との連携協力	図書館	49
		184 図書館実習生受入・施設見学	図書館	50
		185 山階鳥類研究所との連携・交流	鳥の博物館	50
		187 学校運営協議会制度の活用	指導課	50

**■** 進行管理が行える計画あり 9事業(うち再掲3事業)

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり		基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり			基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり		
①学びへの情報提供体制の充実							
1	暮らしの便利帳・ガイドブックの発行 市民や転入者に行政サービスや公共施設の利用案内などの市政情報を提供する。	●暮らしの便利帳 ・令和2年度から冊子では発行せず、ホームページで公開する手法に変更している。 ●ガイドブック「ABI ROAD」の改定 ・手賀沼のうなぎちさんと写真・動画の記念撮影ができる「ARフォトフレーム機能」を追加した日本語版を20,000部増刷した。 ・県内外の観光情報発信拠点、東葛地区の不動産店舗・大型スポーツショップ等に配置した。  ◇◆指標と実績◆◇ ●ガイドブック「ABI ROAD」 配布部数/作成部数…12,350部/20,000部	A. 成果・効果があった 日本語版は人気が高く、想定より早く在庫が無くなる可能性がある。  在庫の確保	A. 現状どおり推進 「暮らしの便利帳」は、引き続き市ホームページに掲載する。	なし		秘書広報課
2	広報「あびこ」の編集・発行 市民が必要としている行政情報などを、わかりやすく、正確に、確実にお知らせする。	【広報あびこ発行部数】 令和3年4月16日号～令和4年4月1日号 24回 各45,000部 前年度と同様、写真やイラストなどを活用し、見やすく読みやすい紙面づくりに努めた。特に新型コロナウイルス関連情報は、最新の内容となるよう担当課と調整しながら、常に最終面に掲載した。 ●広報あびこ 【発行回数】 月2回(1日・16日) 【配布方法】 新聞折り込みと新聞未読世帯には申し出により宅配による配布。市役所本庁舎ロビー、各行政サービスセンター・各近隣センター・公民館・図書館・水の館・市民プラザなどの公共施設でも配布。 ※新聞購読者が減少傾向にあり、折込による配布は減、宅配による配布は増の傾向にある。 ◇◆指標と実績◆◇ 【広報あびこ発行部数】 令和3年4月16日号～令和4年4月1日号 24回	A. 成果・効果があった 新型コロナ関連、施策・事業、イベント、各種講座や市民団体のお知らせなど、市民に関係するさまざまな情報を発信できた。	A. 現状どおり推進 市民と市が情報を共有するためには、市政や市民の暮らしに関する情報を提供している広報あびこの発行は現状どおり推進する必要がある。	なし		秘書広報課
3	男女共同参画情報紙の発行 男女共同参画社会の重要性や必要性に対する市民の理解を深めるため、男女共同参画情報紙を発行する。	※担当課の進行管理による					秘書広報課
4	財政情報の提供 広報やホームページなどを通して、市の当初予算の状況、執行状況、決算の状況及び財務諸表などの財政情報をわかりやすく市民に提供する。	●広報あびこ 《4月》 令和3年度当初予算の概要 《7月》 令和2年度予算の執行状況 《11月》 令和4年度予算編成方針 《12月》 市の財政状況「令和2年度普通会計決算と令和3年度上半期の執行状況」 《3月》 令和2年度普通会計財務書類4表 ●ホームページ ホームページへ財政分析資料等の掲載 ◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページ閲覧数】 ・目標値 6,000件 ・実績 51,192件	A. 成果・効果があった ・市の財政について、広報・ホームページを活用して情報を提供した。	A. 現状どおり推進	なし		財政課

基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

	NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容		令和4年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 1	① 学びへの情報提供体制の充実 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	食に関する情報の提供及び啓発の充実	食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行う。 食に関わる事業（離乳食教室等）や各地域でのイベントでの啓発活動に加えて、がん集団検診の会場でパネルやフードモデルを用いて啓発活動を実施する。また、食育だよりや保健センターだより、市のホームページを用いて啓発を行っていく。食品表示（栄養成分表示など）についても、出前講座などで啓発を行う。 ●食育だより 【発行】4回／年 【配布枚数】12,800枚／号、これに加え、がん集団検診で配布 ●ホームページ ホームページに食育だよりを掲載。 ●出前講座 市役所メニュー「知って得する食品表示」並びに「メタボを防ごう！肥満解消！時短簡単クッキング！」（調理実習）の設定があったが、利用者はなかった。 ●がん集団検診での啓発展示 令和3年度に実施した集団検診（胃がん検診・乳がん検診・子宮がん検診）の会場で啓発展示を行った。 ◇◆指標と実績◆◇ 【食育便り発行枚数】55,200枚 【出前講座等参加者】本講座に参加し学習したことを、今後、活用・実行できそうか ※利用者がなかったため実績なし	A. 成果・効果があった ・食育だよりの配布により日頃健康づくり支援課の事業への参加が少ない小・中学校に通う児童・生徒を持つ保護者に情報提供を行うことができた。 ・喫食を伴う講座等の実施に制限がかかるが、実践につながりやすい情報の提供ができる場であるため、今後の実施について内容検討しながら考えていく必要がある。	A. 現状どおり推進 喫食を伴う講座等の実施は、実践につながりやすい情報の提供ができる場であるため、今後の実施については内容検討しながら継続実施とする。	なし	健康づくり支援課
		バリアフリー情報提供事業	市内施設のバリアフリー状況調査を行い、その結果に基づいてホームページ「バリアフリーおでかけマップ らっく楽！あびこ」の掲載内容更新を行った。  ◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページへのアクセス数】17,786件	A. 成果・効果があった 市内施設のバリアフリー状況調査を行い、「バリアフリーおでかけマップ らっく楽！あびこ」の更新をすることで、外出支援に寄与した。	B. 改善・見直しを行う	我孫子市公開型GIS「あびまっぷ」にバリアフリーマップ機能を追加し、現行の我孫子市ホームページ「バリアフリーおでかけマップ らっく楽！あびこ」に掲載されている情報のうち必要なものについて、あびまっぷに移行し新たなバリアフリーマップを構築する。	障害者支援課（障害者福祉センター）
		子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営	●子ども向け情報紙「あびっ子ネット」 【部数】年間3回、各回約16,000部を発行 ※年度当初は年4回発行を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により紙媒体での発行を1回分取り止めたため発行は3回となった。 【配布場所】市内幼稚園・保育園等、小中学校、公共施設に直接配布し広く市民に届ける。 【情報紙の発行の方法】編集の段階から市も関わりながら、市内の子ども関係団体等で組織する「あびこ子どもネットワーク」に業務委託することで、子ども関係団体間の情報交換を図りながら情報を精査し、市民目線で子ども向けの情報を発信している。 ●ホームページ 紙媒体での情報だけでなく、より広く最新の情報を発信するため、インターネットでの配信として、「あびっ子ネット」ホームページを運営。 【運営の方法】ホームページの編集・運営管理を情報紙発行と同じ「あびこ子どもネットワーク」に委託し、情報紙に掲載できなかった情報を随時掲載するなど情報の連携を図る他、提供された情報を精査して掲載しホームページ編集及び最新情報の更新を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【情報紙「あびっ子ネット」配布枚数】 年4回発行 夏号 R3年7月9日発行 15,700枚 秋号 ※新型コロナウイルスの影響により紙面発行中止。ホームページ上で情報発信。 冬号 R3年12月1日発行 15,800枚 春号 R4年3月11日発行 15,800枚	A. 成果・効果があった 市民団体や個人、公共団体が企画し地域で行われる子どもと保護者向けの催し物やお知らせ、参加者の体験等に関する情報を発信することにより、催し物等への参加・体験を促し、子ども達の健やかな成長を育むことを支援できた。  業務委託をしている「あびこ子どもネットワーク」の編集委員の中には、情報紙の発行及びホームページの管理運営を開始した当初から携わっている方もおり、現在のノウハウを継承するため新たな担い手の確保が課題となっている。	B. 改善・見直しを行う	事業目的に即し必要な事業として位置づけてきたが、委託先の市民団体より担い手不足のため次年度以降の受託を辞退する旨の申し出があったことから、子ども向け情報紙の発行は廃止する。子ども対象イベント等については市ホームページや広報紙などにて情報発信していくこととする。	子ども支援課



NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点			
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無				
8	子育て支援情報の発信  乳幼児を子育て中の親の育児不安や孤立化を防ぎ、子育てに喜びや楽しみを感じられるよう、情報提供を行うとともに、必要に応じ援助・斡旋を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広報あびこ 【日程】毎月1日広報あびこ「子育て応援情報」掲載 【内容】「保育園・幼稚園などの地域子育て支援」「出前保育」「あびこでパパを楽しもう」「ふたごちゃん・みつごちゃんの会」</li> <li>●登録制メール配信サービス(子育て応援情報) 随時</li> <li>●インターネット 随時</li> </ul> 【発信状況】 ・市ホームページ「あびこで子育て」にて、イベントカレンダー・イベントレポート(ブログ)・「あびこでパパを楽しもう」・「子育て支援施設」・「子育て支援サービス」等の情報を随時更新。 ・市フェイスブックに子育て情報を投稿。 ※上記を我孫子市子育て支援センターのiPadにて情報提供。 ●窓口・電話による子育て情報提供(子育てコンシェルジュ) ●子育て支援ガイドブック「わくすく」の発行 【日程】2022年4月発行予定※3月納品 【部数】9,500部 【対象】在宅未就園児、母子健康手帳申請者、転入者など  ◇◆指標と実績◆◇ 【相談件数】664件	A. 成果・効果があった  利用者が必要な情報を得て活用することにより、育児不安の軽減や孤立化の防止につながっている。	B. 改善・見直しを行う  子育て支援施設で利用者が気軽に相談できる体制を整えるため、子育て支援員数の増員を検討している。	子育てガイドブック「わくすく」令和4年度版発行 【利用期間】概ね2年 【部数】9,500部(内訳:窓口配布9,300部、広告掲載事業者等200部)	保育課		
	9	手賀沼情報の提供  手賀沼の水質変化を市内の掲示板で3ヶ月に1回更新するとともに、手賀沼に関するイベント等の情報をホームページや広報で提供し、手賀沼に対する関心を深める。	手賀沼中央地点の水質情報の更新(3ヶ月に1回)を各掲示板にて情報提供及び広報あびこに情報掲載する。 また、手賀沼公園内の掲示板においては、1ヶ月毎に市独自で水質調査を行っている「手賀沼公園沖」の水質も併せて更新する。  【掲示場所】 JR4駅(我孫子・天王台・湖北・布佐)の各南北口階段、行政サービスセンター7施設、市役所本庁舎1階、水の館(1階、3階)、アビスタ、手賀沼ビオトープ、手賀沼公園(手賀沼公園沖水質データも掲示) 計21箇所 ◇◆指標と実績◆◇ 【掲示箇所】 21箇所	A. 成果・効果があった  市民の目に触れるところに掲示することで目的とする情報を提供できた。中には掲示板をきっかけにしたお問い合わせもあった。	A. 現状どおり推進		【掲示箇所】21箇所 → 20箇所 ※手賀沼ビオトープ掲示板を撤去。	手賀沼課
	10	都市計画に関する情報の提供  都市計画とは何か、都市計画法等の法令内容に沿って概要を説明するとともに、我孫子市における都市計画の内容について事例を用いて説明する。	・市民・事業者からの窓口や電話などでの問い合わせに対して都市計画法第3条第3項に基づき、都市計画(用途地域、高度地区、防火・準防火地域等)に関する適切な情報の提供を常時行う。 ・都市計画の概要が記載されている「我孫子市の都市計画」およびホームページの更新を行い情報提供を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページ閲覧数】 計17,341,093件 (我孫子市の都市計画の概要:1,750件、高度地区の規定について:1,533件、都市計画図検索画面:17,337,810件)	A. 成果・効果があった  市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。	A. 現状どおり推進  常に情報を更新し、正確に情報を提供する。		なし	
11	都市計画図等の作成・管理事務  常に最新の都市計画図等の作成に努め、都市計画情報を市民・事業者に広く提供する。	・都市計画図を都市計画課窓口、行政情報資料室及び図書館に配置するとともに、都市計画基本図(地形図)を都市計画窓口に配置し、一般市民・事業者に対して広く閲覧できるようにする。 ・都市計画課窓口で都市計画図・都市計画基本図(地形図)を販売する。  ◇◆指標と実績◆◇ 【販売枚数】 87枚(都市計画図:32枚、白図:55枚)	A. 成果・効果があった  市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。  なし	A. 現状どおり推進  令和2年度に都市計画図及び都市計画基本図の更新を実施したため、最新情報を提供する。	なし	都市計画課		

基本目標 1 ①学びへの情報提供体制の充実  
いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容		令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
12	景観形成情報発信・啓発事業  多くの市民に景観への関心を持ってもらうため、市民団体の活動支援や、イベント、ホームページ等の広報活動を通して、景観に関する情報発信及び啓発を行う。	<p>1. 「我孫子のいろいろ八景歩き」の開催 我孫子のいろいろ八景に選ばれた市内の魅力的な景観ポイントを、市民ガイドと巡るまち歩きイベント「我孫子のいろいろ八景歩き」を4回開催。計46人の参加があった。 ◆「我孫子のいろいろ八景歩き」開催実績(令和3年度)</p> <p>①「白樺派の若き文豪たちの散歩道」 【実施日】10月2日(土) 【参加者】13人</p> <p>②「ハケの道と坂道の岡夙戸こもれびコース」 【実施日】10月20日(水) 【参加者】14人</p> <p>③「湖北台のまちなみと田園コース」 【実施日】10月30日(土) 【参加者】13人</p> <p>④「新木・古戸の古社と里を巡るコース」 【実施日】11月12日(金) 【参加者】6人</p> <p>2. 我孫子のいろいろ八景パネル展示 市内の公民館等の公共施設(計7施設)で、我孫子のいろいろ八景を紹介するパネルを展示。</p> <p>3. 「我孫子のいろいろ八景歩き」コースマップ等の改訂・配布 我孫子のいろいろ八景を巡る散策コースマップ(計12コース)をはじめ、我孫子のいろいろ八景に関する発行物の改訂・増刷を行い、市内・市外の公共施設等で配布した。</p> <p>4. 我孫子市公開型GIS「あびまっぷ」上での我孫子のいろいろ八景に関する情報発信 我孫子のいろいろ八景に選ばれた景観ポイントの情報や、市民等が投稿した市内の魅力的な景観の画像等をインターネットの地図上で確認できるようにし、市民・事業者・行政による景観情報のデジタル化・共有化を図った。 ◇◆指標と実績◆◇ 「我孫子のいろいろ八景歩き」合計参加者数…46人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>令和元年度まで行っていた「我孫子のいろいろ八景歩き」の参加者アンケートの結果では、全員から本事業は景観に関心を持っていただく上で効果があるとの回答が寄せられた(※「効果がある」…87.7%、「やや効果がある」…12.3%)。令和3年度はコロナ対策のためアンケートは未実施。 また、我孫子のいろいろ八景の散策コースマップは、一部の施設では設置から程なくして補充が必要になるほど好評を得ている。</p> <p>「我孫子のいろいろ八景歩き」の参加者を年代別に見ると、60代以上が大半を占めている。若い世代に景観に興味・関心をもっていたりするための工夫や仕掛けづくりが課題。</p>	A. 現状どおり推進	なし	都市計画課
	14	住宅情報の総合的提供  市のホームページに「住まい」に関する情報提供ページを設け、市が行っている住宅施策や市営住宅、マンション管理等の情報を提供する。	<p>市ホームページや広報を活用し、関連課等と連携しながら広報手段を検討し、必要とされる情報を幅広く発信する。</p> <p>●住まいに関わる情報発信(制度内容などは代表的なものを抜粋)(ホームページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいに関わる相談(住宅、不動産相談)(※)</li> <li>・マンション管理(セミナー、個別相談、アドバイザー派遣)(※)</li> <li>・住まいに関わる助成、補助(若い世代の住宅取得、住宅リフォーム補助金など)</li> <li>・空き家バンクの運営、空き家等の流通促進や活用支援</li> <li>・市営住宅(入居募集、団地詳細)(広報等)</li> <li>・住宅、不動産相談(※)</li> <li>・若い世代の住宅取得補助金(4/1、6/1、9/1、1/1)</li> <li>・我孫子市住宅リフォーム補助金(4/1、9/1、1/1)</li> <li>・マンション問題個別相談会(※)</li> <li>・マンション管理セミナー(※)</li> <li>・市営住宅入居募集(7/1)</li> <li>・空き家バンク(4/1、9/1、1/1)、など</li> </ul> <p>(※)新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止。代替として、電話対応が可能な関係団体の相談窓口をご案内した。 ◇◆指標と実績◆◇ 【各制度の申込件数】 住宅相談:0件 不動産相談:0件 マンション管理セミナー:0団体、個別相談:2団体、アドバイザー派遣:0団体 若い世代の住宅取得補助金:204件 住宅リフォーム補助金:267件 空き家バンク新規登録:5件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>住まいに係る補助制度である住宅リフォーム補助金制度や空き家等の有効活用などを目的とした空き家バンク制度など、関連する制度と併せて記事を掲載するなどの効果的な情報発信により、前年度と比較して申請件数が増となったことから、効果があったものと思われる。</p> <p>住宅リフォーム補助金や住宅・不動産相談の利用者は比較的高齢の方が多いため、HPでの情報提供が困難な場合がある。このことにより、電話や窓口でのご案内の機会が多くなるため、より丁寧でわかりやすい説明が必要となる。</p>	A. 現状どおり推進	

基本目標 1 ①学びへの情報提供体制の充実  
いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

	NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容		令和4年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	15	水道広報活動推進事業  水資源の重要性や、水道事業運営状況等の積極的な情報提供を図る。	<p>【「あびこの水道」発行部数】 45,500 部 年2回の発行</p> <p>●広報「あびこの水道」発行 【発行回数】年2回(No.56: 5月16日号、No.57: 11月16日号)発行 ・市内では新聞折り込み等により配布 ・取手市小堀地区・取手地区に個別郵送 ・市関連施設の窓口にて配布 ・市Webサイトに掲載</p> <p>●水道水のPR活動 ・市内のイベントや小学校の授業において、我孫水(ペットボトル水)の配布をし、水道水の安全性やおいしさについてPRした ◇◆指標と実績◆◇ ●広報「あびこの水道」発行部数 45,500 部 (年2回 91,000 部)</p> <p>●我孫水 イベントでの配布数 (24本/97箱)</p>	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	水道局経営課
	16	生涯学習情報の発信  各課で実施する生涯学習に関連する事業について、「生涯学習情報」や生涯学習のホームページ、ブログ及びSNS(Facebook、ツイッター)、市のメール配信サービスなどを活用し、より広く情報の発信を行う。	<p>●ホームページ 生涯学習に関連するイベントを生涯学習のページ「学び・生涯学習」で紹介。</p> <p>●生涯学習情報 生涯学習の情報紙として発行。 【発行回数・部数】 2回(41号・42号)、 【配付先と設置場所】 教育委員会、市役所本庁ロビー、水の館、アビスタ、湖北地区公民館、図書館湖北台分館、図書館布佐分館、鳥の博物館、白樺文学館、杉村楚人冠記念館、市民体育館、市内近隣センター、行政サービスセンター、高齢者なんでも相談室、市民プラザ、アビシルベ、農産物直売所、保健センター、消費生活センター、商工会、子ども発達センター 【発行月】12月 【内容】「運動会で速く走れる！未来のオリンピック走り方教室」、公民館学級・講座の紹介、アビスタのコロナ対策、成人式、アビスタ駐車場の利用方法 【発行月】3月 【内容】「味わう・参加する・共感する～我孫子のいろいろな学びの”かたち”～」、杉村楚人冠記念館&amp;白樺文学館、令和4年度公民館学級受講生募集、ペップトーク</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【生涯学習トップページのアクセス数】5,155件</p>	C. 未実施・わからない  どれだけの効果があるのか不明である。	B. 改善・見直しを行う  情報発信の方法を見直し ていく必要がある。	事業の実施変更はないが、事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課
	18	あびこ電腦考古博物館の運営  我孫子の文化財とその保護の取組みについて、市民に広く知ってもらうため、市の文化財のホームページである「あびこ電腦考古博物館」から文化財の情報を発信する。	<p>今年度も継続して、発掘調査情報、イベント情報、指定文化財、刊行物などの情報更新を行っていく。 ◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページ閲覧数】 357,465件</p>	A. 成果・効果があった  情報管理を適切に行い、情報更新を速やかに行うことができた。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点			
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無				
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	① 学びへの情報提供体制の充実	19	<b>図書館における郷土・行政資料サービス</b>  多くの市民に我孫子市や千葉県 の郷土や行政に関心を持ってもら ったため、郷土・行政資料の収 集・保存・提供に努め、学びたい 時に学べる学習機会の充実を 図る。我孫子市の資料について は、アビスタ本館が中心となり、 収集・保存する。	○我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供した。我孫子資料については、特にアビスタ本館が中心となって収集・保存した。 ○白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携を図り、「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営及び講座の開催を行った。 ○刷新したホームページに郷土に関するレファレンスを集めたページ「我孫子を知る」を掲載した。 <事業> ○杉村楚人冠記念館・我孫子市民図書館合同イベント ①・テーマ:第9回楚人冠講座「楚人冠の人と作品2」・日程・講師:6月12日(土)杉村楚人冠記念館学芸員 ・場所:アビスタ第二学習室・参加者:18人 ②・テーマ:第10回楚人冠講座「楚人冠と漱石で読み比べる「禅」」・日程・講師:11月27日(土)杉村楚人冠記念館学芸員、図書館市民スタッフ(対面朗読担当)・場所:アビスタ第二学習室・参加者:18人 <企画展示> ○企画課・図書館共同展示 ・「祝 成田線開業120周年PR」  ◇◆指標と実績◆◇ 【郷土行政資料(我孫子資料・千葉県資料)の年間貸出冊数】 3,228冊 (前年度比 114.3%)	A. 成果・効果があった  我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供することにより、市民が郷土への理解を深め、愛着をもって生活し、主体的に行政に関わるための一助となった。また、市の文化施設と連携することにより、郷土資料の充実及び事業のPR・共同開催を図り、互いに利用を促進することができた。  「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営にあたっては、今後も白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携していくことが欠かせない。他の市内文化施設とも連携して展示や資料提供の工夫をしていく必要がある。また、ホームページの郷土のページも適宜追加・見直しをおこなっていく。	A. 現状どおり推進  郷土資料の買い替えや複本の購入を進め、市役所各課と連携することで、我孫子市でしか入手できない資料を収集・保存・提供できた。我孫子市として後世に伝えていくべき文化遺産を今後も収集・保存・提供していくため、引き続き推進していく。いままでも蓄積した郷土に関するレファレンスをまとめ、ホームページに追加していく。	・5月24日から6月7日、文化・スポーツ課と連携して竹内神社例大祭に関する展示をアビスタ2階で実施 ・11月9日から29日、アビスタ20周年記念として市民が作製した絵画「あひこ百選」をアビスタ2階に展示する際図書館でも追加展示としてふらりあびこ散策の記事の運動展示をおこなう。	図書館
	20	<b>図書館の情報化推進</b>  図書館の電算システム等を運用し、市民の利便性の向上を図るとともに、過去の出来事や事件を手軽に調べることができる新聞の有料データベースにより情報提供を行い、知る自由を保障する。	○新たな図書館電算システムを令和4年1月に導入し、インターネット及び館内検索コンピュータからの予約(リクエスト)に必要なパスワード登録を利用者自身が行えるようになり、利便性が向上した。また、従来のパスワード登録対象者を中学生以上としていたものを変更し、0歳からできるようになった。 ○図書館電算システム及び事務機器を運用し、マニュアルを作って全職員に周知し、トラブル等に対処した。 ○館内検索コンピュータの一部にインターネットが使用できる端末を導入し、利用者サービスに努めた。 ○新聞記事の有料データベースを活用して、利用者サービスに努めた。 ○新システム機能を利用した新たなイベント「読書マラソン大会:はじめの一步大会」を開催し、利用者の読書活動促進を図った。 ○貸出期限票をレシート出力し、利用者の利便性を向上させた。 ○新システム機能を利用してスマートフォンで図書館利用カードを使用できるようにし、利用者サービスを向上させた。 <システム移行による臨時休館> 12月27日～1月13日 ◇◆指標と実績◆◇ 【インターネット及び館内検索コンピュータからの予約(リクエスト)受付件数(年間)】 99,087件 (前年度比 106.4%)	A. 成果・効果があった  高度なレファレンス(調べもの)に対応するため、外部データベースの導入及びインターネットの活用は必要不可欠だった。令和4年1月の図書館電算システム更新に伴い、パスワード登録対象者の変更を行ったことにより、パスワード登録件数が増え、予約システムを利用した受付件数が増加した。  新しい図書館電算システムを利用して、パスワード登録や予約(リクエスト)サービスを更にPRしていく必要がある。	A. 現状どおり推進  利用者に新たな図書館電算システムを利用してもらうためのPRを行い、適切な運用をしていく。読書マラソン大会を定期的で開催し、パスワード登録者の増加を図る。	なし	図書館	
	21	<b>鳥の博物館ホームページの運営</b>  鳥の博物館専用ホームページを運営し、鳥の博物館のイベント情報、企画展のお知らせ等、博物館事業の情報提供を行う。	鳥の博物館で実施する企画展やイベント情報など最新情報を発信した。 ◇◆指標と実績◆◇ 【鳥博トップページアクセス数】 65065回	A. 成果・効果があった  全国に広く鳥博の展示・イベント情報を発信するほか、ショップグッズについてもオリジナル商品を紹介し、多くの人に鳥博を知ってもらうことができた。  更に多くの方に来館してもらえるよう工夫をする。	A. 現状どおり推進  より魅力ある情報を発信していく。	なし	鳥の博物館	

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
②学びにつなげるための相談体制の充実							
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	22	<b>生涯学習学習相談体制の整備</b> 生涯学習センター「アビスタ」を拠点に我孫子市内外で行われている様々な学習情報の収集と提供を行う。また収集した情報を活用した学習相談を行う。 各課で実施している生涯学習関連事業や学校等で活躍している地域の方の人材情報や団体情報・イベント情報を収集し、インターネット等で市民に情報を提供する。 【出前講座メニュー表】 【発行日】随時発行 【内容】生涯学習出前講座の利用方法、メニュー、市民講師プロフィール ◇◆指標と実績◆◇ 人材情報、団体・グループ情報(ホームページ)へのアクセス数 3,564件	A. 成果・効果があった コロナ前の31年度に比べ件数、人数ともに減少しているが、令和2年度に比べ市民講師講座数も増え、利用者数も増加した。講師の方には積極的に市民の学習活動の支援に取り組んでもらった。	A. 現状どおり推進	②学びにつなげるための相談体制の充実 事業の実施変更はないが、事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課	
	23	<b>生涯学習人材バンクの整備</b> 「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」について、3年ごとに定期更新を行い最新の情報へ更新する。また、随時登録募集を行い、情報数を増やすとともに、問い合わせに対し迅速に回答できるようデータ管理をした。 【令和3年度末 人材情報登録件数】 令和3年度 63人 【令和3年度末 団体・グループ情報】 令和3年度 111団体 ◇◆指標と実績◆◇ 【新規登録件数】 人材情報 1件	A. 成果・効果があった 「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」をホームページや閲覧用冊子で参照した方から多数の問い合わせがあり、登録者・登録団体をを紹介することで活動を始めようとする市民を支援した。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課	
	24	<b>生涯学習ボランティア</b> 出前講座市民講師登録等のボランティア登録を担当課で行い、市民が持つ様々な経験や専門的知識を活かせる場を提供する。 市民が持っている様々な経験や専門的知識を活かせる機会の提供と生涯学習に関わるボランティアの活用を図った。 ≪子ども支援課≫ 宿泊通学スタッフ 0人(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) あびっ子クラブサポーター 212人 ≪保育課≫ 子育てボランティア 2人 子育て支援サポーター 62人 保育園における災害時協力員 37人 インターンシップ 0人(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ≪指導課≫ 学校支援ボランティア 延29,332人 19団体 ≪文化・スポーツ課≫ 文化事業市民スタッフ 22人 旧村川別荘ボランティア 30人 白樺文学館 演奏ボランティア 35人 白樺文学館 朗読ボランティア 6人 ≪鳥の博物館≫ 鳥の博物館市民スタッフボランティア 24人 ≪図書館≫ 図書館市民スタッフ(読書普及スタッフ) 13人 図書館市民スタッフ(対面朗読スタッフ) 5人 ≪生涯学習課≫ 生涯学習出前講座市民講師 42人、9団体 保育市民スタッフ事業(学習中の保育) 12人 ◇◆指標と実績◆◇ 【令和2年度 ボランティア登録数】 ≪個人登録数≫ 504人 ≪団体登録数≫ 29団体	A. 成果・効果があった 多くの市民の方にボランティア登録してもらい、市民ボランティアのサポートを受け、生涯学習を推進した。	A. 現状どおり推進	事業の実施変更はないが、事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課他6課	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容		令和4年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 1 ②学びにつなげるための相談体制の充実 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	25	視聴覚教材・機材の管理及び貸出  現在保有する視聴覚教材・機材を維持管理して有効活用するとともに、視聴覚教材及び機材を保全し、これらの貸出業務をもって、市民の生涯学習活動を支援する。	保有する機材・教材を有効活用し、貸し出しを行う。 ●視聴覚教材及び機材の貸出（通年） 【対象者】市内に在住又は在勤し、営利を目的としない者 【視聴覚機材利用件数】 73件 【視聴覚教材利用件数】 ・16ミリフィルム：0件 ビデオソフト：0件 DVD：2件 合計 0件 ●機材・教材保有状況 ・16ミリ映写機、液晶プロジェクター、ポータブルアンプセットなど約15種類の機材 ・16ミリフィルム：327本 ・ビデオソフト：187本 ・DVD：231本  ◇◆指標と実績◇◆ 【視聴覚ライブラリー利用件数（機材・教材の合計）】 73件(団体・個人)	A. 成果・効果があった 定期的を使用している団体があり、コロナ禍でも一定の需要があった。	A. 現状どおり推進 家電製品やインターネットが一般家庭に普及したことで、機材の貸出は減少傾向になってきているが、防災訓練や自治会、市民団体の研修時などで定期的に使用している団体があり、コロナ禍でも一定の需要があったため、新たな機材や教材の購入は行わず、現状通り推進していく。	事業の実施変更はないが、事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課
	26	図書館カウンターサービス  図書館資料の利用により、市民が知る自由を享受し、より豊かな生活を送ることが出来るよう、自主的な学習活動を支援し、幅広い学習機会を提供する。	○図書館資料（図書・雑誌・CD・カセットテープ）の貸出・返却を行った。また、返却された図書館資料を元の書架に戻し、書架整理を行った。 ○図書館サービス向上のため、年末年始（12月29日～1月4日）を除く祝日を閉館した。また、アピスタ本館は午後8時まで閉館した。 ○窓口において、利用登録の受付、市民が求める資料を探し出すための援助、調査研究の援助、複写サービスを行った。 ○利用者の求める図書館資料が貸出中または所蔵していない場合に、予約を受け付けて提供するサービスを行った。 * 11月から予約サービスを我孫子市民（および市と共同利用の協定を締結している取手市・利根町）のみに限定した。 パスワード登録も上記以外は中止した。  ◇◆指標と実績◇◆ 【相談業務受付件数】 32,678件（前年度比 123.7%） 【年間貸出冊数】 898,777冊（前年度比 130.1%） 【年間貸出利用者数】 238,434人（前年度比 133.4%）	A. 成果・効果があった 新型コロナウイルス感染症のため感染対策を取りつつ一部サービス制限をしながらサービスを行った。幅広く奥深い調査研究への援助等も自主的な学習活動の充実には必要不可欠だった。11月から予約サービスを制限したことで、人気のある本を我孫子市民により早く提供できるようになった。  研修への参加及び個別指導等により、職員だけでなく会計年度任用司書職員（司書）のスキルアップを行う必要がある。予約サービスの制限に関しては開始から1年をめぐりに検証し効果を確認していく。	A. 現状どおり推進 市民が学びたい時に学べる学習機会の充実に必要であり、今後も引き続き推進していく。	なし	図書館
	27	図書館利用に障害のある方へのサービス  録音図書の貸出や、図書の郵送貸出等、ハンディキャップを持つ人の特性に合わせた幅広いサービスを提供することにより、学びたい時に学べる学習機会の充実を図る。	○ハンディキャップを持つ方のニーズに応じて、目の不自由な方へのサービスとして「デジ録音図書作成・貸出事業」「対面朗読サービス」「郵送貸出サービス」、身体の不自由な方へのサービスとして「宅配サービス」、耳や言葉の不自由な方へのサービスとして「FAXでのリクエストの受付サービス」を行なった。 また、ハンディキャップサービスのPRを行なった。  ◇◆指標と実績◇◆ 【宅配・郵送・対面朗読等年間利用件数】 《対面朗読サービス》 47回 《郵送貸出サービス（デジ録音図書含む）》 1,143回 《宅配サービス》 146回 《窓口でのデジ録音図書貸出》 492点 合計 1,336回、492点	A. 成果・効果があった 様々なサービスを提供することによって、ハンディキャップがある市民に対して、学びたい時に学べる機会を提供し、「知る権利」を保障することができた。また、新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた対面朗読サービスが通常再開し、利用者が1名増えたことで利用回数が前年度よりも増加した。  視覚や身体に障害がある人は、図書館を利用すること自体あきらめてしまう場合がある。障害がある市民も図書館サービス（ハンディキャップサービス）を利用できることを周知し、利用者を増やす必要がある。	A. 現状どおり推進 様々なハンディキャップがある市民の「知る権利」を保障するためにPR等の工夫をし、一層の利用促進に努め、個々のハンディキャップに合わせた対応を行う必要がある。	なし	図書館

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
③学びへの関心を高めるための啓発の充実							
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	28	交通安全普及啓発活動の推進 警察署、交通安全協会と連携し、交通安全教室の実施等、実践的な交通安全啓発活動を充実させ、交通安全普及啓発を図る。	保育園、幼稚園、小中学校へ出向き、警察署、交通安全協会と連携・協力して交通安全教室を開催する。 模擬信号機、模擬交差点、車両等を使った安全な歩行実習、自転車の乗り方実習をします。 また、必要に応じてDVDやビデオ教材等を使いながら事故事例をもとに、交差点での横断の仕方、自転車の正しい乗り方と自転車側の過失による損害賠償などを学習します。 【日程・対象・参加者数】 <4月～2月実施> 延べ実施校等：保育園・幼稚園 2園・小学校 3校・中学校 3校・高校 1校 延べ開催回数：19回 参加人数：776人 ◇◆指標と実績◇◆ 【交通安全教室延べ開催回数】 19回	A. 成果・効果があった 我孫子市の交通事故発生件数は、令和3年では235件と前年より7件減少となった。このうち子ども(中学生以下)の発生件数は11件。前年より3件増加となった。  小中学校での交通安全教室における実技実施に際し、実施校や教育委員会にもスタッフとして人員協力をお願いしたい。	A. 現状どおり推進	なし	市民安全課
	29	集団健康教育 保健センターで実施する各種がん検診等の場で、生活習慣病予防のための健康教育を実施する。	集団でのがん検診等の場(子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、骨粗しょう症検診)で待ち時間等を利用し、チラシ等を配布するなど生活習慣病予防等の啓発、健康教育を実施する。 【内容】がん、禁煙、COPD、歯の健康、ロコモティブシンドローム等 【場所】保健センター 【参加者(延べ人数)】延べ実施人数6,207人(集団：子宮頸がん検診1,879人、乳がん検診2,513人(マンモグラフィ検査1,978人、超音波検査535人)、胃がん検診1,377人、骨粗しょう症検診438人) ◇◆指標と実績◇◆ 【参加者(延べ人数)】 6,207人	A. 成果・効果があった 疾病の一次予防の推進を図ることができたと考ええる。  集団検診での健康教育のみの効果評価が難しい。	A. 現状どおり推進 集団検診での健康教育は、定期的に一定人数に啓発できる場であり、内容検討しながら継続実施とする。	がん検診の種類や年齢層によって、掲示するパネルや放映するDVDの内容を変更している。	健康づくり支援課
	30	健康フェア 健康寿命の延伸に向けて、市民が普段から健康増進に努め、病気の原因となる危険因子を予防・改善する“一次予防”に取り組めるよう、健康に関する啓発を行う。健康づくりに関する情報提供や健康相談、ニュースポーツなど様々な健康づくりの取り組みを紹介し、健康における運動習慣の重要性に関する啓発を行う。	市民の健康づくりを目的とした健康フェアを開催。新型コロナウイルス感染症の流行により、会場開催を中止した。 【日程】令和3年11月22日～28日 【場所】アピスタストリート(パネル展示・動画上映) 【主催】健康フェア実行委員会(医師会・歯科医師会・薬剤師会、市、市民活動団体、健康フェアに協力する市民等) 【内容】テーマ「おうちでできる健康づくり」健康づくりに関するパネル展示・動画上映、ホームページでの動画掲載を実施。 ◇◆指標と実績◇◆ 【来場者アンケート：「健康フェアに参加して健康についての意識が高まった/とても高まった」と答えた割合】 ※展示開催のため、アンケート未実施	A. 成果・効果があった 会場開催は実施できなかったが、パネル展示・動画上映等を通して、市民に健康づくりを周知できたと考えます。  会場開催ができず、直接健康づくりに関する体験をしてもらうことができなかった。新型コロナウイルス感染症の状況によるが、感染症対策を講じた上で会場開催できるか検討していく必要がある。	A. 現状どおり推進	感染症対策を講じた上で会場開催できる企画を検討する。	健康づくり支援課
	31	廃棄物に関する教育啓発事業 我孫子市におけるリサイクルの流れや廃棄物処理の実情を紹介し、生活から排出される「ごみと資源」について共に考え、廃棄物行政への理解とごみの減量、リサイクルの推進を図る。	イベントや小学生を対象にした施設見学は、新廃棄物処理施設建設工事が完了する令和4年度末まで休止。  広報やHP、SNSを活用し排出抑制やリサイクルのための分別の呼びかけ ◇◆指標と実績◇◆ 【最終処分量】2,758t 116.03% (目標値3,200t)	A. 成果・効果があった 【最終処分量】3,377t 94.76% (目標値3,200t)  広報やHP、SNS以外の手段を研究していかなければならないこと。	A. 現状どおり推進 イベント、施設見学を除き現状通り。	なし	クリーンセンター

	NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容		令和4年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	③ 学びへの関心を高めるための啓発の充実	32 石けん利用の推進  石けんの利用を通して、私たちの生活と環境とのかかわりに関心を持ってもらい、手賀沼浄化など環境改善につなげる。	●せっけん学習会 《手賀沼流域フォーラム》 【日程】7月17日【場所】アピスタ工芸工作室【参加者数】29人  ●イベント参加 《ママへのごほうびフェスタ》 新型コロナウイルス感染拡大防止により、石けん啓発パネルの展示のみ実施 【日程】9月25日【場所】アビクオー1階正面エントランス【参加者数】283人  《第46回我孫子市消費生活展》 消費生活展において、石けん啓発用パネルの展示 【日程】令和4年2月5日、6日【場所】あびこ市民プラザ【参加者】182人  ◇◆指標と実績◆◇ 【来場者数】 494人	A. 成果・効果があった  石けん学習会においては、親子で参加することで、コミュニケーションの場として、学ぶことの楽しさを提供することができた。また、石けんに興味をもってもらうことができた。	A. 現状どおり推進  事業としては現状どおり推進すべきと考えているが、新型コロナウイルス感染の影響を考慮し、実施できる事業を行う。	なし	商業観光課
		33 小学校『歯磨き・食育指導』事業  乳歯から永久歯への交換期である児童の歯・口の健康づくりを目指すため、小学生に対して歯磨き・食育指導を実施する。	・市内各学校の児童に対し、1～2学期を中心に各教室で講話を実施。  【実施回数】49回 【場所】市内小学校13校 【参加者】1,059人 ◇◆指標と実績◆◇ 【給食後の歯磨きを実施している学校数】 3校	A. 成果・効果があった  新型コロナウイルス感染症が流行している中、令和3年度の歯科指導は飛沫防止のため歯磨き実習を行わず、小学5年生は必修で講和のみ実施した。学校からの希望があれば他の学年も実施した。感染症予防対策ができる学校は、給食後の歯磨きは継続しているが、できない学校が多い中、健康教育を行い、児童に意識付けを行うのに有効であった。  各校での給食後の歯磨きは、飛沫の関係上、学校長の判断により児童生徒に対する水道の数等の関係で、学校での取り組みができないところが多かった。	A. 現状どおり推進  新型コロナウイルス感染症対策（飛沫予防）のため、来年度も引き続き講話のみの歯科指導を3年と5年に行う。学校からの希望があれば、他の学年も講話のみの歯科指導を実施する。	なし	学校教育課
		34 生涯学習推進計画事業実施状況調査  市民が主役の生涯学習の推進を図るため、我孫子市生涯学習推進計画に基づく生涯学習関連事業の実施状況調査を実施し、その進行管理や調整を行う。	第三次生涯学習推進計画前期実施計画に基づく事業の令和2年度実施状況の具体的内容や成果・課題、また、令和3年度の実施予定内容など関連事業の調査を行った。  ◇◆指標と実績◆◇ 【事業評価結果】 令和2年度 A成果・効果があった 118事業 Bあまり成果・効果がなかった 1事業 C未実施・わからない 29事業	A. 成果・効果があった  生涯学習に係る事業の進捗状況を把握することができた。	A. 現状どおり推進	事業の実施変更はないが、事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課
		35 生涯学習推進委員会の運営  生涯学習を総合的に推進するため、生涯学習推進計画の策定のほか、生涯学習に関する施策や各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行う。	※平成10年に「我孫子市生涯学習推進本部設置要綱」を制定してから20年以上が経過し、生涯学習に係る取組が全庁的に浸透してきたことに加え、事業の効率化・見直しを図る観点から、組織の簡素化の一環として同要綱を廃止し、その趣旨を継承する「我孫子市生涯学習推進委員会設置要綱」を令和2年5月1日制定した。委員会の構成は、企画課、市民活動支援課、健康づくり支援課、子ども支援課、手賀沼課、クリーンセンター、都市計画課、学校教育課、指導課、文化・スポーツ課、生涯学習課、図書館の12課。 ●生涯学習推進委員会会議 《第1回》【日程】令和3年10月28日(木)【議題】※書面開催 1 令和2年度及び令和3年度 実施計画事業調査について  ◇◆指標と実績◆◇ 【委員会開催数】 1回	A. 成果・効果があった  第三次生涯学習推進計画 実施計画に基づく事業を行っていく中で、各課が抱える問題に対して情報共有を図ることができた。	A. 現状どおり推進	事業の実施変更はないが、事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課



NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
36	健康スポーツ普及事業  市民の健康の保持・増進等を図るためスポーツ推進委員などと連携し、総合型地域スポーツクラブの育成・支援を行う。市民が気軽に参加できるスポーツイベント等を開催し健康スポーツの普及を図る。多様化するスポーツニーズに対応するため、市独自のスポーツ指導者養成講座を開催。スポーツ指導者の方向性を統一し、我孫子市のスポーツ活動が安全・安心に展開できるよう指導者の育成を図る。	<p>●ボールゲームフェスタの開催 【場所】我孫子市民体育館 【日程】令和4年3月6日(日)(新型コロナウイルス感染症の影響により中止) 【対象者】 午前小学1年生から小学3年生までの児童と保護者 午後小学4年生から小学6年生までの児童、生徒</p> <p>《総合型地域スポーツクラブ》 ・市内6つのクラブにおいて、ベタンク・ショートテニス・健康体操・太極拳・卓球等の活動を通し、総合型地域スポーツクラブとして活動する。 ・各クラブは毎週土曜・日曜日に活動している。 ・各クラブの活動の他に6クラブ交流連絡会を組織しており、6クラブ合同事業としてウォークラリーや市民のチカラ祭りにおいて総合型地域スポーツクラブの紹介映像やニュースポーツのデモンストレーションを行う。</p> <p>●スポーツ協会の委託事業 《市民体育大会》 《チャレンジスポーツフェスタ》 【日程】10月2日(新型コロナウイルス感染症の影響により中止) 《新春マラソン大会》 【開催日】1月23日(新型コロナウイルス感染症の影響により中止) 《ファミリースポーツテスト》 【開催日】11月20日</p> <p>●スポーツ指導者養成講座 【場所】教育委員会大会議室 【日時】令和3年12月5日(日)・12日(日)・19日(日)の3日間 【対象者】日本スポーツ協会公認資格である「スポーツリーダー」の資格取得を目指す市民及び、有資格者のうち我孫子市独自講義を受講する市民 ◆◆指標と実績◆◆ 《総合型地域スポーツクラブ》 【会員数】385人</p> <p>●イベント参加者数 《市民体育大会》【参加者】877人 《チャレンジスポーツフェスタ》【参加者】0人(中止) 《新春マラソン大会》【参加者】0人(中止) 《ファミリースポーツテスト》【参加者】201人</p> <p>●スポーツ指導者養成講座【受講者】10人</p>	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課	
	37	読書普及活動  依頼された市民団体の元へ出向き、読み聞かせや読書案内を行うことにより、市民の読書への関心を高め、図書館の利用促進を図る。	<p>○出前講座として、「大人が楽しむおはなし会」(成人・高齢者向けに絵本や紙芝居の読み聞かせ、語りなどを行う)を設け、市民団体からの依頼に対し、職員や市民スタッフが出向き、講義や読み聞かせ等を行なった。また、出前講座以外でも、市民団体、学校などからの依頼に対し職員や市民スタッフを派遣した。 ○「離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ」は新型コロナ感染症対策のため、集団案内方式で実施した。 &lt;事業&gt; ○出前講座「大人が楽しむおはなし会」(2回) ○職員派遣(1回) ○離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ(月1回) ○出張おはなし会(1回)</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 【出前講座及び職員派遣先、出張おはなし会、離乳食教室での読み聞かせの実施回数(年間)】 13回(前年度8回)</p>	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進		なし

基本目標 1 ③ 学びへの関心を高めるための啓発の充実  
いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
38	図書館PR 図書館利用促進のためのPRや情報提供を行い、多くの市民に図書館サービスを周知する。	<p>○図書館のホームページを作成し、所蔵検索などのインターネットサービスを提供したほか、利用促進のためのPR及び情報提供を行った(イベント案内、お知らせなど)。 令和3年12月26日から令和4年1月11日まではホームページを閉鎖し、電算システムの入替えに伴う図書館ホームページの全面リニューアルを実施した。</p> <p>○館内特集コーナー・展示コーナーで毎月資料やポスターなどを展示した。</p> <p>○広報あびこへの記事提供を行った(「ミニギャラリー」、「図書館員が選ぶこの一冊」、各種イベント記事など)。</p> <p>○事業・イベントをPRするポスターやチラシを作成した。</p> <p>○各種刊行物の企画・編集・発行を行った(「我孫子市の図書館」、「男女共同参画図書リスト」、「たんた新聞」、年齢別・学齢別ブックリストなど)。</p> <p>○読書推進用我孫子市民図書館オリジナル「読書ノート」の配布を行った。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページの年間アクセス数】 766,810件 (前年度 1,060,664件) ※システム更新に伴い、令和3年12月26日から令和4年1月11日までホームページを閉鎖</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>図書館資料の予約受付総数のうち、約76%がホームページからのオンライン予約であり、図書館検索・予約サービスを含む図書館ホームページに対する利用者のニーズの高さが確認された。</p> <p>ホームページの作成、「たんた新聞」等刊行物の企画・編集・印刷・製本等には、まとまった作業時間の確保が必要である。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>図書館のPR及び情報提供においてホームページは有効な手段であるため、新規利用カード登録者に対するホームページの利用を促進するとともに、利便性の高いホームページとなるよう努めながら今後も引き続き推進していく。</p>	これまで、市役所ホームページにはおはなし会のPRとスタッフ募集のみ掲載していたが、今年度はそれに加え各種イベントの記事を掲載した(展覧会、読書講演会、科学実験講座、読書マラソン大会など)。	図書館	
	39	鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動 鳥類や自然科学への理解を深めることを目的に専門家による講演会を実施する。また、工作を楽しむ機会や、観察・体験の機会を提供するため、身近な材料でできる工作や、観察・体験を中心に実施する。	<p>●講演・講座</p> <p>＜鳥博セミナー＞ 例年鳥の博物館2階レクチャールームを会場として実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為にインターネットを利用したオンライン形式で実施した。 【日程】10月2日(土)【最大同時視聴者数】175人</p> <p>＜鳥学講座＞ 毎年ジャパンバードフェスティバルのエントリーイベントとしてアピスタ(我孫子市生涯学習センター)1階ホールで実施していたが、新型コロナウイルス感染症対策の為に会場での実施は中止し、インターネットを利用したオンライン形式で実施した。 【日程】11月6日(土)【最大同時視聴者数】133人</p> <p>＜ゲストトーク＞ 新型コロナウイルス感染症対策のため、ジャパンバードフェスティバルはすべてオンラインとなり、出展する来場団体が無いため中止した。</p> <p>●フロアスタッフイベント ＜夏の遊びと研究大集合！＞(7月25日から8月29日までに全5回実施) 令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、感染症対策を講じたうえで規模を縮小して実施した。 【内容】「鳥のうちわ」と「鳥のグライダー」の作成 【日程】 7月25日(日) 44人 8月 1日(日) 48人 8月 8日(日) 69人 8月15日(日) 58人 8月22日(日) 67人 8月29日(日) 50人 合計 336人</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【参加者数】 ＜講演・講座＞ 308人 ＜フロアスタッフイベント＞ 336人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>各講座では鳥に関する興味深い話を各分野の専門家から直接聞く機会を設けることができ、オンライン開催を行うことにより遠方の方からも多く視聴してもらった。イベントにおいては規模を縮小して行ったが、小学生と保護者による参加が多数あり、若い世代の市民に鳥の博物館の存在をPRすることができた</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	鳥の博物館

基本目標 1 学びへの関心を高めるための啓発の充実

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり					基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり		
①地域への関心を高める学びの機会の推進					①地域への関心を高める学びの機会の推進		
41	子どもの居場所づくり事業 (あびっ子クラブ)  放課後に子どもたちが安全・安心に過ごすことのできる環境を整備し、地域の方の協力を得て異年齢間の交流や様々な体験を通して子どもの成長を育む。	※担当課の進行管理による					子ども支援課
42	谷津ミュージアムづくり推進事業  手賀沼沿いで最も谷津の地形と自然環境が残されている岡発戸・都部地区の谷津36.7ヘクタールをまるごと保全し、かつての農村環境の復活を目指す。	●谷津の自然観察会 【日程】 7月22日(木・祝) 参加人数:25人 8月1日(日) 参加人数:40人 11月20日(土) 参加人数:34人 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津)  ●谷津の自然観察会(近隣小学校2校) 季節ごとに自然観察会を実施 計8回 参加者 計455名 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津) ◇◆指標と実績◆◇ 【谷津ミュージアム内の維持管理作業等参加者延べ人数】 2,616名	A. 成果・効果があった  各自然観察会や維持管理作業を通して、谷津ミュージアムの維持管理を行うボランティア団体の会員拡大に繋がった。  ボランティアの高齢化によるイベント関連の取り組みがいつまで持続できるのか、また、それに対して新たなボランティアをどのようにして募集するのが課題。	A. 現状どおり推進	なし	手賀沼課	
43	手賀沼船上学習の実施  遊覧船で手賀沼を一周しながら小学生や市民に手賀沼汚濁の歴史や状況などの話をする船上学習を開催し、手賀沼の浄化啓発を図る。	小学校及び市民団体等からの視察を随時受け付け、船上学習を実施する。  ●手賀沼船上学習 【参加者】327人  ◇◆指標と実績◆◇ 【市内小学校実施数】 4校(13校中) 【その他団体】 3団体	A. 成果・効果があった  市内の小学生や市民団体に向けて手賀沼の歴史を教えるだけでなく、実際に船に乗りながら鳥などの生き物も見ることができたため、非常に人気である。  コロナにより船の定員が減少したため、コロナ前と比較すると、同じ予算額であっても乗船できる団体(人数)が限られてしまう。	A. 現状どおり推進	なし	手賀沼課	
44	手賀沼流域フォーラムの開催  市民団体を中心となって水質改善や環境保全活動を展開する手賀沼流域フォーラムの開催を支援する。	●地域イベントの開催 柏、我孫子、流山、松戸、鎌ヶ谷、白井、印西の手賀沼流域7市各市民団体によるイベントを開催する。  ●全体会の開催 講演会「手賀沼のヌマベを核とするまちづくり」～「ヌマベ」が市民にとって水に親しむ空間となるように取り組んだら、どうなった?～ 【日時】10月23日(土) 【場所】アビスタホール ◇◆指標と実績◆◇ 【我孫子企画の開催回数】 8回	A. 成果・効果があった  各市の企画数(コロナ・天候不良による中止を含む)について、柏4企画、鎌ヶ谷2企画、白井2企画、印西市2企画、我孫子市10企画と、我孫子市がもっとも多かった。 また、2021年より開始された外来水生植物駆除の経過観察や調査事業をはじめ、大津川支流のオオカワヂシャ調査・駆除や手賀沼魚類・貝類調査を実施。3年前に焼失したハスを含めた水生植物についても現状の把握に努めている。  新型コロナウイルス感染症の影響で募集定員を減らしたり、中止になったイベントがあった。	A. 現状どおり推進	なし	手賀沼課	

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまじくくり ①地域への関心を高める学びの機会の推進	45	<b>ジャパンバードフェスティバルの開催</b>  自然のシンボルである鳥たちの魅力を題材とした文化的・芸術的なイベントを開催し、鳥類知識の普及や、手賀沼などの自然環境保全に関する情報の受発信を推進する。	人と鳥の共存をテーマに、出展団体間の情報交換促進のほか、野鳥を通じて自然環境に興味・関心を持ってもらう。 <b>【開催日】</b> 11月6日(土)、7日(日) <b>【開催場所】</b> ○ ジャパンバードフェスティバル公式ホームページ及びYouTubeチャンネルにてオンライン開催 ○ アビスタ(11月6、7日)、アビシルベ及び水の館(10月8日～11月7日)での現地展示 <b>【事業内容】</b> 今年度は昨年度に引き続き、オンライン開催をメインに実施。JBFならではのイベントや講座を動画で配信したほか、出展予定だった団体からのPRメッセージ掲載や全日本鳥フォトコンテスト作品展示等により、JBF公式ホームページ及びYouTubeチャンネルの充実を図った。 ◇◆指標と実績◆◇ <b>【実行委員会及び企画運営委員会の回数】</b> 6回	<b>A. 成果・効果があった</b>  新型コロナウイルス感染症の影響で会場開催を中止し、オンラインで開催することができた。  オンライン開催とした場合の収入の確保が課題。	<b>B. 改善・見直しを行う</b>  新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、早めに開催方式を決定する。また、オンライン開催になった場合には収入の確保に努め、財源が減少しないよう注意する。	JBF2022は、新型コロナウイルス感染防止対策を実施のうえ会場開催を予定。 ※2020,2021は、オンライン開催。	鳥の博物館・手賀沼課・商業観光課
	46	<b>地区計画制度の活用</b>  市民が地区計画制度を活用して、宅地開発などにより整備された良好な住環境を保全することを支援するため、ホームページなどによる制度の周知や出前講座を行う。	地区計画制度の説明パンフレットやホームページを活用して、市民や事業者に対して正確に情報提供を行う。  <b>●パンフレット</b> <b>【配布場所】</b> 市役所都市計画課 <b>【配布部数】</b> 部(集計不可のため部数未記入です。申し訳ありません。9地区の地区計画エリアに該当する場合や参考までに欲しいという場合も含めて、必要に応じて窓口対応時に配布しています。) ◇◆指標と実績◆◇ <b>【ホームページ閲覧数】</b> 計4,603件 (地区計画～市民主体のまちづくり～:2,091件、我孫子市の都市計画…地区計画等:1,500件、市街化調整区域における地区計画運用基準:1,012件)  <b>【地区計画の区域内における行為の届出件数】</b> 55件	<b>A. 成果・効果があった</b>  市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。	<b>A. 現状どおり推進</b>	なし	都市計画課
	47	<b>我孫子産農産物の学校給食導入事業</b>  児童生徒に、米を主食とした食生活や食文化の大切さを伝え、地元農産物への興味・関心を高めるため、我孫子産の米や野菜を学校給食に導入し、地産地消の観点から食育を推進する。	<b>●我孫子産米・我孫子産野菜</b> 我孫子産米認知度・小学校83.0%、中学校96.0% 我孫子産野菜認知度・小学校84.0%、中学校96.0% 我孫子産野菜使用・月平均6.4回使用 品数・4.0品目、 使用割合は5.2%  <b>●米飯給食</b> 米飯給食回数4.1回/週実施した。  <b>●和食の実施</b> 実施率 平均49.2%  ◇◆指標と実績◆◇ <b>●我孫子産米・野菜が給食で使用されていることを知っている児童・生徒</b> R3指標 90%、実績87.6%	<b>A. 成果・効果があった</b>  <b>●我孫子産米・我孫子産野菜</b> 我孫子産米の認知度は昨年と変わらず、我孫子産野菜の認知度は若干上がった。 <b>●米飯給食</b> <b>●和食の実施</b> 米飯・和食給食を推進し、児童生徒に体験を通して食文化や日本型食生活の良さを伝えることができた。  <b>●我孫子産米・我孫子産野菜</b> 我孫子産米・野菜の認知度を維持するとともに、児童生徒の食に関する選択力・自己管理能力を高めた。  <b>●米飯給食</b> <b>●和食の実施</b> 米飯給食、和食給食の推進が食育に寄与していることの具体的な評価が難しい。	<b>A. 現状どおり推進</b>  我孫子産米・我孫子産野菜を活用した学校給食を教材として、系統的、継続的に食育指導を実施し、児童生徒の興味関心、食に関する選択力、自己管理能力を高めていく。	なし	学校教育課

基本目標	NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容		令和4年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進 ①地域への関心を高める学びの機会の推進	49	市史調査研究  我孫子市内に残る古文書の解読や資料類の収集・調査研究を行い、報告書等を作成して市政や教育に活用する。	市内に残る古文書、古記録、石造物、寺社、建造物などの歴史・文化遺産を現地調査し、市民からの聞き取り調査や資料収集を通じて調査研究を進める。  ●資料調査 井上家資料目録に掲載された資料の読解とデータ作成を行い、活用に備える。 ●古文書管理 市内諸家文書の問い合わせ、資料閲覧対応 ●和紙公図の保存修復 和紙公図を専門業者に委託して保存修復し、データ化する。 ◇◆指標と実績◇◆ 市史関係図書の刊行数 2冊 和紙公図の保存修復 108枚(修復済み591枚、未修復295枚)	A. 成果・効果があった  井上家資料や和紙公図のデータ化を進めることで、一般の閲覧の対応が円滑になった。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
	50	郷土芸能への支援  郷土芸能の発表の場を設けることにより、継承者の意識の高揚と団体内の活性化を図る。	我孫子市に伝わる神楽舞や祭囃子などの民俗芸能を発表する郷土芸能祭を、教育委員会の主催で実施した。  【日程】令和3年12月5日(日) 【時間】午後2時開演 【場所】湖北地区公民館 【内容】神楽舞、祭囃子、獅子舞 【出演】(ゲスト出演)邦楽集団かさねあびこふるさと会、ひよとこ睦 我孫子第四小学校伝統芸能クラブ布佐小学校郷土芸能クラブ、布佐中学校郷土芸能講座  ◇◆指標と実績◇◆ 【来場者数】 175人 ※新型コロナウイルス感染症対策を徹底的に行い、収容人数の半数で実施した。	A. 成果・効果があった  伝統芸能を披露する機会を保ち、伝統芸能継承団体のモチベーションが高まった。また、古くから伝わる郷土芸能を次世代に継承させるために、今後も事業の推進をしていきたい。  伝統芸能継承団体の高齢化	A. 現状どおり推進	ゲスト到我孫子日本舞踊協会の方を迎え、子どもたちに日本の伝統芸能を鑑賞してもらう。	文化・スポーツ課
	51	文化財の指定調査と保存支援  指定文化財制度・登録文化財制度の活用を行うことにより、時代の流れにより滅失しやすい有形・無形文化財の保護を行う。	●指定文化財・登録文化財制度の活用 所有者同意を得て市指定文化財化をはかり、適切な管理を通じて保存につなげる。  ●文化財保存基金 文化財の保存や活用に役立てるため、基金への募金を募り、また、計画的な積立を行う。  ●指定文化財への保存支援 市指定文化財の整備や維持管理のための補助金の活用を進める。  ●文化財の維持・管理 県指定史跡水神山古墳の草刈りを実施する。 県指定天然記念物東源寺榎の木施肥及び除草を行う。 ◇◆指標と実績◇◆ 【市指定文化財数】 19 件(今年度指定1件含む)	A. 成果・効果があった  補助金の利用や登録有形文化財への希望など、文化財保存への関心が高まったのがわかる	A. 現状どおり推進  文化財保存基金について、クラウドファンディングなども活用し、今後とも積極的に募金徴取を行う。 国登録の登録制度の周知を行い、文化財保護を醸成する。	なし	文化・スポーツ課
52	埋蔵文化財発掘調査  市内に所在する埋蔵文化財包蔵地において、公共事業、民間開発等に伴って現状変更が行われるのに先立ち、遺跡の記録保存を目的とした埋蔵文化財発掘調査を行う。	【市内遺跡発掘調査】6件 【不特定遺跡発掘調査】0件 【公共事業発掘調査】1件 【民間開発発掘調査】2件 ◇◆指標と実績◇◆ 【必要な発掘調査の実施率】100%	A. 成果・効果があった  調査を円滑に実施できた。	A. 現状どおり推進  住宅の着工等を滞りなく進めるためにも、発掘調査を速やかに、かつ正確に実施していく。	なし	文化・スポーツ課	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進	53	考古遺物整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「下ヶ戸貝塚」の9分冊目の刊行事業をおこなった。</li> <li>・「市内遺跡発掘調査報告書」は令和3年度市内遺跡補助を受けて刊行した。</li> <li>◇◆指標と実績◆◇</li> <li>【一年間の報告書刊行冊数】3冊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A. 成果・効果があった</li> <li>報告書の刊行を通じ、下ヶ戸貝塚の全容解明にむけて大きな成果を上げることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A. 現状どおり推進</li> <li>毎年、報告書を計画的に刊行する。</li> </ul>	なし	文化・スポーツ課	
		あびこ自然観察隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもから大人まで分かりやすい観察会を目指し、環境学習の一環として、我孫子の自然を代表する場所を選び、子どもから大人まで気軽に参加できる観察会を実施。</li> <li>開催場所は市内各所、定員は10人で、鳥の博物館の市民スタッフと協働で実施。</li> <li>◇◆指標と実績◆◇</li> <li>【開催数】3回</li> <li>【平均参加者数/回】</li> <li>指標:24人</li> <li>実績:9人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A. 成果・効果があった</li> <li>規模を縮小して行ったが、小学生と保護者による参加が多数あり、若い世代の市民に鳥の博物館の存在をPRすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A. 現状どおり推進</li> </ul>	令和4年7月より従来の定員10名から20名に変更した。	鳥の博物館	
		てがたん（手賀沼の自然観察会）	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月第2土曜日午前10時から11時までの1時間、子どもから大人まで身近な自然に関心を持つことができるような観察会を実施。</li> <li>定員10人で、鳥の博物館の市民スタッフと協働で実施。</li> <li>◇◆指標と実績◆◇</li> <li>【開催数】11回</li> <li>【平均参加者数/回】</li> <li>指標:34人</li> <li>実績:8人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A. 成果・効果があった</li> <li>規模を縮小して行ったが、小学生と保護者による参加が多数あり、若い世代の市民に鳥の博物館の存在をPRすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A. 現状どおり推進</li> </ul>	令和4年7月より従来の定員10名から20名に変更した。	鳥の博物館	

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点		
		②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供			②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供		
基本目標 2 子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供	子どもNPOボランティア体験	指定管理者事業の一つとして実施。 ●ボランティアのきっかけづくりのためのプログラム 【タイトル】あびじよプラスマイナス絵本(絵本のシェア)事業 【内容】読み終わった本の交換、おすすめメッセージやしおり作成、本棚の整理のボランティアをして子どもや子育て世代が関わることができる市民活動【利用者数】140件、310人(25.8人/月)【蔵書数】1,172冊(令和4年3月31日現在) ●ボランティア育成のためのプログラム 【タイトル】Abiボラ 【内容】開発発達途上国支援と絵本に関するプログラム【開催時期】ゴールデンウィーク、夏休み、11月 ◇◆指標と実績◆◇ 【体験受入れ団体数】0団体 【体験者総数】25名(市民活動ステーション独自プログラムとして実施)	B. あまり成果・効果がなかった 開発途上国支援と絵本に関するプログラムを実施した。  Abiボラは令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症予防のために受入れを休止する団体・機関がほとんどだったため、情報の収集と発信が滞った。	A. 現状どおり推進	なし	市民協働推進課	
	後期離乳食教室	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・離乳食後半から幼児期に向けて、食事、起床・就寝等を含めた生活リズムの整え方 ・噛むことの大切さ、食形態の変化のさせ方、むし歯予防の話、歯みがき指導 ・間食の意義、適切な与え方 ・家族全体の食事に関する健康教育 【場所】保健センター 【日程】年18回 【対象】市内在住の8~9か月の児を持つ保護者。  【令和3年度参加者数】169組 ◇◆指標と実績◆◇ 【離乳食に関する知識を得た人の割合】98.5%	A. 成果・効果があった 集団への健康教育を行うことにより、歯の手入れも含めた食習慣の知識を深めることにつながったため。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた乳児及び保護者への試食を、保護者のみとし、再開した。	健康づくり支援課	
	しあわせママパパ学級	●しあわせママパパ学級 【実施日】毎月1コース(1コース3日間)実施 【場所】保健センター【対象者】妊娠期の夫婦、家族 【実施内容】3日間1コース(平日2コース、土曜1コース) 【委託】千葉県助産師会 【開催コース】12コース 【開催回数】36回 【参加者】妊婦96人(実)、253人(延) 夫、家族92人(実)222人(延) ◇◆指標と実績◆◇ 【学級後のアンケート結果】 «「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合»100%	A. 成果・効果があった 適切な時期に妊娠、出産、育児に関する知識を啓発することにより、「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合が100%となっている。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症対策で定員数を削減しているが、感染対策をとり、前年度より定員数を増加し実施。	健康づくり支援課	
	離乳食教室	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する講話 ・大人の食事を利用した離乳食の調理方法 ・保護者・家族向けの食事を通した健康教育 ・咀嚼に関する講話 【場所】保健センター 【日程】年12回 【対象】市内在住の4~6か月の児を持つ保護者。  【令和3年度参加者数】186組  ◇◆指標と実績◆◇ 【離乳食に関する知識を得た人の割合】100.0%	A. 成果・効果があった 離乳食喫食時の口の動かし方を確認するだけでなく、離乳食の調理法や食材の固さについて情報提供を行うことで離乳食に関する知識が深まったと考えられる。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた試食を、内容を一部変更し、再開した。	健康づくり支援課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会をもちつくり	60	手賀の丘フレンドシップ アー 手賀の丘少年自然の家を宿泊場所として、金曜日の放課後から土曜日の午後にかけて、子どもが集団のなかで自己を確立し、心の交流や連帯感を身に付け、社会のルールを養い、自立心や協調性などを育む機会を提供する。	※担当課の進行管理による			子ども支援課
	61	あびこ子どもまつり 子どもがまつりの企画から携わり協力しながら自主的に行動し、まつりをつくりあげるとともに楽しむ機会を提供する。参加する子どもは仕事体験しアビーという子どもまつりで使える通貨をもらい、使って楽しむという労働体験の場を提供する。	※担当課の進行管理による			子ども支援課
	62	げんきフェスタ 市内の子ども達が、楽しく充実した文化に触れ、地域の中でいきいきと逞しく、創造性豊かに成長する機会を作る。また、それを支える大人のネットワークを広げ、参加する団体の交流と文化の向上を目指す。	※担当課の進行管理による			子ども支援課
	64	子育て支援施設における講習 子どもが安全に遊べる場を設け、親同士や子ども同士の交流を図る。利用者アンケートなどをとくに、毎月各子育て支援施設において、親の子育て力の向上と親子の絆を深めることができる育児講座を工夫して実施する。	市内在住の乳幼児と保護者を対象に、市立の子育て支援施設4か所で行う。 ・すくすく広場(天王台地区)令和3年6月末日 閉館 ・すこやか広場(新木・布佐地区)令和3年6月末日 閉館 ・わくわく広場(湖北台地区)令和3年7月から湖北台保育園子育て支援センター「すまいる広場」に名称を変更し、湖北台保育園へ移転した。 ●育児相談(保健センターと実施)※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【日程】毎月1回～2回 【場所】にここ広場 【内容】保健相談・栄養相談・歯科相談 ●プレパパママ講習会(あびこ助産師専門学校との共催)※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【日程】10月、11月 【場所】にここ広場 ●歯科医師講習会(我孫子市歯科医師会との共催) 【場所】にここ広場 年2回・わくわく広場 年1回 ●育児講座(保健師 栄養士による講座および図書館による読み聞かせ) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【日程】各年1回程度 【場所】にここ広場 ※すまいる広場は、湖北台保育園の保健師、栄養士、園長による講座を実施 ◇◆指標と実績◆◇ 4施設利用者実績 22,714人	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、講座の実施について検討していく。	令和4年7月から湖北台保育園子育て支援センター「すまいる広場」は新園舎に移転した。育児相談、育児講座、プレパパママ講習会を再開した。



NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	子ども議会	<p>【日程】令和3年11月9日(火)9:00~15:30 【場所】我孫子市議会議事堂 【内容】各小中学校から代表する子ども議員を招集し、市長のまちづくり方針に対する子ども議員からの質問や意見に対する答弁を市役所職員から聞く。実際の市議会の流れとほぼ同様に進行するよう実施する。 【参加者】子ども議員:38人(市内小中学校児童生徒男女各1人) 議会参加者:市長ほか関係職員、教育委員、市議会議員※保護者などの傍聴者は、傍聴席を使用 ◇◆指標と実績◆◇ 【質問する児童生徒数】38人</p>	<p>A. 成果・効果があった 参加した生徒をはじめ、オンラインで視聴した学校もあったので、議会がどのように進んでいるのかや物事の決定までの流れなどを学べる貴重な機会となっていた。 コロナ禍での実施の方法や感染対策などの工夫。限られて人員の中での対応や保護者誘導や案内の工夫。</p>	A. 現状どおり推進	隔年実施のため令和4年度は未実施	指導課	
	長寿大学	<p>【場所】湖北地区公民館ほか 【内容】 ・市広報等により学級生を募集。4年制の学級で、「健康福祉」「我孫子を知る」「地域交流」「市民活動」などを柱として、令和2年4月から令和3年3月まで年間13回の学習プログラムで実施した。 ・運営委員会、運動会、大学祭、研修など各委員会を組織し活動した。 ・新型コロナウイルスの影響で、入学式が8月になったため学習プログラムも短縮日程となった。 【参加者】 ≪1年生≫48人 ≪2年生≫38人 ≪3年生≫44人 ≪4年生≫42人 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 172人</p>	<p>A. 成果・効果があった 学級生自らがボランティア活動を実施する機会が増えた。</p>	A. 現状どおり推進	事業の実施変更はないが、事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課	
	成人式	<p>【日程】1月9日(日) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【対象者及び人数】平成13年(2001)4月2日から平成14年(2002)4月1日に出生した市内在住者:令和3年12月1日現在1,304人 ≪第1部≫我孫子中学校区 ≪第2部≫湖北・湖北台及び我孫子特別支援学校卒業の方 ≪第3部≫久寺家・布佐中学校区 ≪第4部≫白山中学校区 【式典企画】 ・恩師からのビデオメッセージと卒業アルバムからの思い出の写真の上映 【記念品】 オリジナルデザインの図書カード ≪企画運営会議について≫ 【日程・内容】 新成人代表による企画運営会議を立ち上げ、成人式の準備を進める。全5回の企画運営会議を実施。 ≪第1回≫ 6月26日 成人式の内容、企画運営会議の役割について ≪第2回≫ 7月18日 式典企画及び記念品について ≪第3回≫ 8月18日 式典企画及び記念品について ≪第4回≫ 9月18日 式典企画、記念品及び役割分担について(書面開催) ≪第5回≫10月17日 式典企画及び式典台本について、式典企画試写会 ≪第6回≫11月7日 12月リハーサルについて、台本読み合わせ ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 944人 (出席率 72.39%) ≪第1部≫ 387人 (出席率 79.33%) ≪第2部≫ 268人 (出席率 90.30%) ≪第3部≫ 356人 (出席率 62.36%) ≪第4部≫ 293人 (出席率 59.04%)</p>	<p>A. 成果・効果があった 新成人自らが成人式を作りあげること で、代表者・参加者ともに心に残る成人式となった。 新型コロナウイルスの影響により、会場が半数利用となっているためホールが手狭になることが予想される。</p>	A. 現状どおり推進	事業の実施変更はないが、事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	68	<b>熟年備学</b> 高齢期をより豊かな幸せな期間(幸齢期)とするために、高齢社会の諸問題や対処の方法を学ぶ。人生の後半を自立し豊かな暮らしができて、元気な高齢者として地域の高齢者を支えながら、自らハツラツとした人生を送るにはどうしたら良いかを考えるきっかけとする。	【日程】5月から11月 11回 【場所】我孫子地区公民館 【内容】①開級式 私の人生、笑いととも ②身体イキイキ健康体操 ③暮らしに彩風呂敷活用術 ④実践！介護のコツと介護保険制度 ⑤人生100年時代のマネープラン ⑥地域で私ができること ⑦食生活が健康を支える ⑧生前整理でスッキリ ⑨歌とりズムでリフレッシュ！ ⑩全ての健康の基～口腔ケア～ ⑪学習を振り返って～今後の活動～ 閉級式 【定員】40人 【応募者】40人 ◇◆指標と実績◆◇ 【学級終了時に実施したアンケート結果】 熟年備学に参加しての感想 ①とても良かった 76% ②まあまあ良かった 24% ③ふつう 0% ④あまり良くなかった 0% ⑤とても良くなかった 0%	A. 成果・効果があった アンケート結果で、学習の中で学んだことを8割の方が何かしら実践している。少なからず、これからの生活や活動のきっかけになっているようだ。	A. 現状どおり推進 三密を回避し感染拡大に繋がらないような、学習手法を検討し実施する。	コロナ感染予防対策を実施し、参加者からは概ねコロナ対策に理解を頂けた。事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課
	69	<b>家庭教育学級</b> 子育てについての学習や、親同士の情報交換を通して、家庭・親子のあり方を考える機会を提供するとともに、家庭での教育力の向上を図る。	【日程】5月から1月。年間14回 【場所】我孫子地区公民館 【対象】小学校1・2年生の保護者 【定員】36名 【参加】41名 ◇◆指標と実績◆◇ 【学級終了時に実施したアンケート結果】(回答者38名) 満足度91.7%	A. 成果・効果があった 参加理由として「何か勉強したい」「同じ学年の子を持つ保護者との交流を求めている」が多かった。 学級終了時のアンケート結果から、「学んでつながることへの満足感がうかがえ、自主的に活動する継続学級も立ち上がった。	A. 現状どおり推進 通年の学習の中で、班活動や話し合いが必要な学習を設け、子育てを通しての価値観が同じ仲間、同年代の子どもを持つ保護者が繋がる場になるよう運営していく。	事業の実施変更はないが、事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課
	70	<b>のびのび親子学級</b> ゆとりある子育ての実現に向け、親子のふれあい、学級生同士の交流などを軸に仲間と子育てについて学ぶ機会を提供する。	●のびのび親子学級 【日程】5月から10月まで 各コース全9回 【場所】我孫子地区公民館ホール、手賀沼公園 【対象】アピスタコース 平成29年4月2日から平成31年4月1日生まれの子(2, 3歳児)と保護者 【定員】・アピスタ火曜コース 親子25組 ・アピスタ木曜コース 親子25組 【参加】・アピスタ火曜コース 親子25組 ・アピスタ木曜コース 親子25組 ●Babyのびのび親子学級 【日程】前期9月3日・17日・10月1日・18日・30日 全5回 後期3月4日 全1回 ※後期は、新型コロナウイルス感染症予防のため中止となったが、一講座のみZoom講座で 開催した。公民館の学級としてZoom講座で開催は初めてだった。 【場所】我孫子地区公民館 ホール、ミニホール 【対象】前期 令和3年4月1日から7月31日に生まれた赤ちゃん(産後1か月検診受診後)と保護者 後期 令和3年8月1日から12月31日に生まれた赤ちゃん(産後1か月検診受診後)と保護者 【定員】前期 親子20組 後期 親子20組 【参加】前期 親子15組 後期 親子11組 ◇◆指標と実績◆◇ 【学級終了時に実施したアンケート結果】(回答者 51人) <<満足度96.5%>>	A. 成果・効果があった 学習が進む中で、不安だった気持ちが軽くなったり、しっかりと子どもと向き合えるようになり、親子の絆を深めることができた。 コロナ禍によって、課題を出し合い、話し合える場を設けることが難しくなった。感染予防を徹底し、いかに横のつながりを作っていくか考えていく必要がある。	A. 現状どおり推進 学習を通して、親同士の学びと交流を重視している。仲間と一緒に考え、子育ての楽しさや苦勞を分かち合い、互いに支え合える仲間づくりができる。学習終了後も自主的な活動を続けるための継続学級が立ち上がった。今後も、横のつながりを作るきっかけの場になるように運営していく。	学習回数を増やし実施。のびのび親子学級は9回から10回、Babyのびのび親子学級は5回から6回とした。Babyのびのび親子学級については、新型コロナウイルス感染症により後期の講座が中止となり、1回の開催にとどまった。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながら実施していく。 事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容		令和4年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
	71	<b>アビコでなんでも学び隊</b>  小・中学生を対象に、地域の学校・企業・専門家等の協力を得て、体験型の講座を実施し、子どもの夢や希望を広げる。また、人との交流によって豊かな人間関係を作るとともに、我孫子の良さを発見し、ふるさと意識を持ち将来、まちづくりに貢献できるようにする。	<b>アビコでなんでも学び隊</b> 【日程】7月から12月 【場所】我孫子地区公民館・湖北地区公民館 【対象】小中学生 《伝統の美・友禅染》【定員】15人【応募】56人【参加】15人 《生命の不思議発見～メダカの秘密～》【定員】15人【応募】89人【参加】15人 《ダブルダッチに挑戦！》【定員】20人【応募】96人【参加】20人 《あらふしぎ？カガミを使わない万華鏡》①②【定員】48人【応募】103人【参加】48人 《お金の大切さがわかる話と貯金箱作り》【定員】20人【応募】133人【参加】20人 《暑中見舞いを作ろう！》【定員無し】【参加】39人 《My望遠鏡で月を見よう！》【定員】20人【応募】69人【参加】20人 《パンでクリスマスブーツを作ろう》【定員】15人【応募】89人【参加】15人 《はじめての書初め》【定員】22人【応募】51人【参加】22人  ◇◆指標と実績◆◇ 【講座終了時に実施したアンケート結果】 【講座に参加した子ども達の満足度】100%	A. 成果・効果があった 参加したほぼ全員が満足している。  毎年、応募者が多く残念ながら抽選で参加できない子ども達が多い。	A. 現状どおり推進 専門的な知識を持つ講師の協力により、学ぶ喜び、科学する楽しさ、発見する喜び等、日常経験がたい体験学習の場となっており、参加者の満足度も高い。地域と子どもをつなぐ役割も果たし、年齢、地域を越えた交流の場を提供していく。	コロナ感染対策の徹底。事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課
	72	<b>子どものための舞台鑑賞事業</b>  子どもたちに良質な舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、心豊かな成長を促すとともに、舞台鑑賞のマナーなどを養うために行う。	子どもたちの文化教養として舞台芸術に親しみ、楽しむ鑑賞会を教育委員会の主催で実施した。  【日程】令和3年12月18日(土) 【時間】一部:14時開演 二部:16時開演 【場所】湖北地区公民館 【内容】「サンドアートパフォーマンスSILT」  ◇◆指標と実績◆◇ 【来場者数】 一部:121人 二部: 81人  ※新型コロナウイルス感染症対策を徹底的に行い、収容人数の半数で実施した。	A. 成果・効果があった 子どもも大人も楽しめる、質の高い舞台を提供することができた。	A. 現状どおり推進	子どもから大人までが楽しめる質の高い演目を選定する。	文化・スポーツ課
	73	<b>成人・青少年への図書館サービス</b>  中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、市民生活・生涯学習に役立つ図書館サービスを行う。出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い、資料を提供する。	○中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い貸出した。また、文字活字文化の日関連事業などを実施した。 ○一般書、逐次刊行物、ティーンズ資料の選定及び提供 ○成人・青少年に対するサービスの企画運営 ○一般サービス選定会議の運営(週1回程度) ○館内研修の実施 《事業》 ○ブックフィルムコーティング講習会 ・日程・場所・参加者:10月27日(水)・アビスタ本館・8人、10月29日(金)・布佐分館・7人 ○企画展示 ・秘書広報課・公民館・図書館共同展示 「2020+1ミュージアム～Dober dan Slovenija～」6月から7月にかけて、場所:アビスタ  ◇◆指標と実績◆◇ 【年間貸出利用者数(12歳以下、団体利用は除く)】 222,374人 (前年度比 133%)	A. 成果・効果があった 生活に必要なことや趣味に関する要求、知的好奇心等に応え、生涯学習意欲の向上につなげた。 他課と連携して展示を実施することで、内容に広がりが出るとともに市民への効果的なPRができた。  利用者の要求が多岐に渡り、限られた予算の中で購入できる冊数にも限りがあった。新刊図書を購入する際は、厳選していく必要がある。	A. 現状どおり推進 成人・青少年のサービス対象者(13歳以上)は、図書館年間貸出利用者数の約93%を占めており、市民の学習機会を充実させるために必要な事業である。	なし	図書館

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
74	児童への図書館サービス  子どもの発達や人間形成、人生経験に好ましい影響を及ぼすことの出来る図書を選定し提供する。読書の楽しみと図書館利用の促進を図るために、おはなし会や講座を実施する。	<p>○学校図書館支援センター機能への支援 ○新刊を含む児童書の選定・内容検討等 ○児童サービスの企画運営として、おはなし会(〈親子で楽しむおはなし会〉〈おはなし会〉〈そよかぜおはなしタイム〉)、子ども読書の日(4月23日)関連事業「こどもの読書週間 みんなで育てよう! 図書館の木」、子どものための科学実験講座、文字・活字文化の日(10月27日)関連事業「よむよむラリー」、館内研修などを実施 ○学校図書館支援・整備、調べ学習への支援 ○学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議&lt;事業&gt; ○こどもの読書週間 みんなで育てよう! 図書館の木 【参加枚数】 418枚 ○子どものための科学実験講座「電池のひみつ～レモン電池でオルゴールをならそう!～」 【場所・参加者】 ①アピスタ本館 24人 ②布佐分館 20人 ○親子で楽しむおはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アピスタ本館 12回 138人 ②布佐分館 8回 47人 ○おはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アピスタ本館 3回 21人 ②布佐分館 19回 93人 ○そよかぜおはなしタイム 【場所・実施回数・合計参加者】 ①青山台ステーション 6回 62人 ○よむよむラリー 【完了数】 図書館 134件 学校 1,634件 合計1,768件 ○離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ 【実施回数・合計参加者】 9回 251人</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 【文字活字文化の日(関連事業)よむよむラリーのゴール数】1,768件 (前年度 2,155件) 【児童書の年間貸出冊数】176,498冊 (前年度比 135%)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>専門的知識や経験を有する職員が、より高度で充実したサービスを市民に提供することができた。</p> <p>読書の楽しみを知ってもらうためには、各事業のPRの工夫をして、利用を促進していく必要がある。 若手の職員に研修や経験を積ませて育成していく必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>・新刊を含む児童書の選定・内容検討等 ・児童サービスの企画運営として、おはなし会(〈親子で楽しむおはなし会〉〈おはなし会〉〈そよかぜおはなしタイム〉)、子どものための科学実験講座、「よむよむラリー」、子ども読書の日(4月23日)関連事業「みんなで育てよう! 図書館の木」、館内研修などを実施 ・学校図書館支援・整備、調べ学習への支援 ・学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議 ・学校図書館支援センター機能への支援</p>	<p>児童図書館員養成専門講座に1名参加。</p>	図書館	
	75	子どもの読書活動推進計画の進行管理  子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、家庭、地域、市民図書館、学校図書館、保育園などにおける子どもの読書環境の整備・充実を図るとともに、相互の連携を深め、読書活動を確立していく。	<p>○「子どもの読書活動推進計画」に関する事業の実施状況調査について各課に依頼、集計。 ○学校図書館との連携による授業支援を実施(通年)。&lt;事業&gt; ○読書講演会の実施 「子どもたちに物語を伝える翻訳家の仕事」 講師:前沢 明枝氏(翻訳家) 日時:令和4年3月5日(土) 13時30分～15時 場所:アピスタニホール 参加者:30人</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 【学校図書館との連携による授業支援数】35件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市役所各課で、どのような子どもの読書活動推進に関連した活動を実施しているか認識できた。 子どもの読書に関する講演会を開催し、子どもの読書に対する関心を高めることができた。</p> <p>計画策定から3年が経過し、推進の効果を確認して、第二次計画につなげていく必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>子どもが自ら考え課題解決できる自立した人間に成長するため重要であることから、関係課と連携を図りながら、引き続き我孫子市における子どもの読書活動を推進していく。</p>		<p>子どもの読書活動推進計画の第二次計画を策定するにあたり、令和4年9月に小学生・中学生・高校生・幼児保護者・小学生保護者・中学生保護者を対象としたアンケートを実施。 第二次計画の骨子作成と策定委員会要領の作成を行う。</p>

基本目標 2 子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実		③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実			③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの ことができるまじぐり	76 男女共同参画講演会の実施		※担当課の進行管理による				秘書 広報課
	77 平和事業	我孫子市平和都市宣言のもと、原爆の恐ろしさや平和の尊さを次世代に伝えていくために、被災地への中学生派遣を行うほか、我孫子市原爆被害者の会や平和事業推進市民会議とともに、様々な平和事業を行う。	●平和事業推進市民会議委員報償費 【開催回数】5回 【委員数】15名 ●中学生派遣 【派遣先】広島 【派遣期間】8月9日(月)から8月11日(水)まで 【派遣人数】12名(中学校5校から男女各1名、1校から女子2名。) ●平和祈念式典組み合わせ事業 【日程】8月14日(土) 【会場】手賀沼公園 【内容】手賀沼とろうろう流し ※荒天により中止。とろうろはアビスタに展示。平和の集いにおいてもギャラリーに展示した。 ●派遣中学生による報告会(平和の集い) 【日程】12月5日(日) 【会場】けやきプラザ2階ふれあいホール 【内容】広島への派遣中学生による派遣報告、我孫子中学校演劇部による演劇「ヒロシマの青い空の下」の公演 【出演者】派遣中学生12名、我孫子中学校演劇部20名 ●リレー講座 【開催時期】令和3年6月～令和4年1月※2月3月は中止。 【内 容】歴代の広島・長崎派遣中学生が講師となり、市内の小学校6年生に派遣体験を伝え、平和について考える機会とする。グループワークで「平和のために自分たちができること」を考え、葉っぱの形をしたメッセージカードに記入する。 【受講者】小学校6校の6年生(18クラス、約567名)  ◇◆指標と実績◇◆ 【平和事業推進市民会議の開催数】5回	A. 成果・効果があった ●中学生派遣事業と派遣中学生によるリレー講座は、戦争や原爆を経験した方がますます減っていく今後の日本社会において、その悲惨さや平和の尊さを伝えていく新たな世代を育てる役割を果たした。 ●今後様々な視点から平和事業を行って行くために、歴代派遣中学生の委員任用数を増やした。  ●派遣から年数が経ってしまうと、リレー講座等の活動に参加することに気後れしてしまう人もいと考えられるため、いかに活動に参加しやすくするのか、工夫が必要である。 ●リレー講座以外にも、戦争体験者の言葉や思いを受け継ぎ、次の世代に伝えていく取組みを検討する必要がある。	A. 現状どおり推進 引き継ぎ、平和事業推進市民会議等の団体、平和事業に参画する市民と連携しながら、事業を進める。	なし	企画 政策課
基本目標 2 生涯にわた	78 健康づくりに関する専門家によるセミナー	新型コロナウイルス感染症流行のため、中止。 ◇◆指標と実績◇◆ 【参加者数】※中止のため実績なし	C. 未実施・わからない		B. 改善・見直しを行う 感染症を懸念して会場に来所できない方向けに、オンライン配信(ZOOM)検討。	オンライン配信(ZOOM)も同時に実施とする。	健康 づくり 支援課
	79 メンタルヘルス啓発講座	コロナウイルス感染拡大防止の観点から講演会を中止。代わりに年々増加する精神障害を有する方の多くが青年期に発症されていることを受け、これから精神疾患の好発年齢にさしかかる中学校の生徒に対し、予め症状や相談窓口について周知しておくことで、早期発見・早期治療につながることを目的としてパンフレットを作成。学校生活が落ちている中学2年生を対象に配布することで、令和3年度のメンタルヘルス啓発活動とした。 ◇◆指標と実績◇◆ メンタルヘルス啓発パンフレット 「思春期のころって 繊細なんです」 1, 100部	A. 成果・効果があった いじめアンケートの実施時期に合わせて中学校2年生に配布。内容が分かりやすく、好評をいただいた。  配布対象を限定したことで、同じようなメンタルヘルスの問題を抱えている可能性のある中学生に対しての配布機会につき拡大を検討する余地がある。	B. 改善・見直しを行う 啓発活動を行う対象学年の拡大を検討する。	パンフレットの配布対象を中学校の全学年に配布。パンフレットに掲載されている相談先については、最新の状況に変更し、改訂されたものを印刷配布する。	障害 者 支 援 課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
80	失語症家族教室  失語のある人のご家族を対象に失語に関する悩み相談、家族間交流、情報交換、失語の知識や会話技術についての講習・実習を行う。	失語のある人の家族が抱えるコミュニケーション上の負担を軽減するために、失語症家族教室を開催し、悩み事の相談、家族同士の情報交換、失語の基礎知識や会話技術に関する講習と実習を行う。 ●失語症家族教室 【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】4回 【定員】10名 【対象者】失語のある方の家族 【費用】無料 ◇◆指標と実績◆◇ 【失語症家族教室への延べ参加者数】14人	A. 成果・効果があった  失語のある人のご家族の家庭での会話の悩みを軽減するとともに、失語に関する知識や会話技術の習得を図ることができた。 本来は、全5回開催だったが1月開催のみ新型コロナウイルスまん延防止重点措置のため、中止となった。  定員10名だが、1回の参加者は3名～4名だった。	B. 改善・見直しを行う  参加者が決まってきていることや参加人数が少人数であるため、相談は個別に応じることができる。	定員10名のところ、令和4年度は参加者が0名～2名とさらに減少傾向にある。参加者のニーズが徐々になくなってきており、令和5年度は言語聴覚士が不在になることから今年度末で失語症家族教室は終了の予定。	障害者支援課（障害者福祉センター）	
	81	手話講習会・読話講習会  中途失聴者・難聴者の方とその家族を対象とした手話講習会、読話講習会を開催する。	●手話講習会・読話講習会 中途失聴者・難聴者の方のコミュニケーションの問題を軽減するため、手話講習会と読話講習会を隔年で開催している。令和3年度は手話によるコミュニケーションの獲得や仲間づくりを支援する目的で、初心者向けに基礎を学ぶための手話講習会を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした。 ◇◆指標と実績◆◇ 【講習会参加実人数】0人	C. 未実施・わからない  未実施。  中途失聴者・難聴者が対象であるため、オンラインでの開催は困難。	B. 改善・見直しを行う  中途失聴者・難聴者は、先天性の聴覚障害者と異なり手話や読話を習得する場がないため、継続して実施する必要がある。しかし、読話は参加者同士の距離が特に近くなり、新型コロナウイルス感染拡大の恐れがあるため、今後は手話講習会のみとする可能性がある。		令和4年度は手話講習会を実施しており、参加者は13名。参加者同士の間隔を空け、全員透明マスクもしくはフェイスシールドの装着を依頼、講師と参加者の間には飛沫防止シートを設置し、新型コロナウイルスの感染拡大に留意している。
82	家族介護教室  要介護被保険者の状態の維持改善をめざし、介護をしている人を対象に、適切な介護知識や技術、外部サービスの適切な利用方法についての教室を開催する。	市内5箇所の高齢者なんでも相談室が主催し、主に高齢者を対象に地域の近隣センター等を会場として開催した。令和3年度については、新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインで開催した会もあった。 【日程、人数】 《我孫子北地区》 ・年4回：参加者延べ51名 《我孫子南地区》 ・年2回：参加者延べ18名 《天王台地区》 ・年8回：参加者延べ106名 《湖北・湖北台地区》 ・年4回：参加者延べ52名 《布佐・新木地区》 ・年1回：参加者22名 ◇◆指標と実績◆◇ ◇市・事業者との協働（どの部分をどんな市民・団体と協働したか記入ください。）	A. 成果・効果があった  多くの市民に対し、高齢者に関わる様々なテーマで情報の提供と家族介護への知識の習得に加え、健康に生活するための知識習得を進めることができた。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染対策や、高齢者がインターネットを利用できるようになるよう、スマホやZoomの近い方の講座を行う。	高齢者支援課	
	83	認知症の方の家族のつどい「あびこ」  認知症の症状のある方を介護している家族が、同じ悩みを抱える家族間で交流を図り、介護方法などの情報交換を行うことにより、家族の負担の軽減や不安の解消を図る。認知症高齢者とその家族の方が安心して暮らせることができるよう支援を行う。	千葉県福祉ふれあいプラザ 介護実習センターとの共催事業 【日程】原則、偶数月の第2水曜日。年4回開催（千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センターとの共催事業）。 【場所】けやきプラザ7階研修室 【参加対象者】認知症の方を介護している家族・介護経験者 【実施内容】 ・参加者からの介護における悩み事や介護方法への助言 ・参加者同士の情報交換 ・家族間の交流 【参加者数】延42人 ◇◆指標と実績◆◇ 【アンケートの結果】 《参加により不安の軽減できた》 94.4% 《自由記載の一部抜粋》 ・いろいろな実体験を聞かせて頂き参考になりました。 ・現状を聞いてもらえて少しホッとしました。 ・同じ思いの方とお話し出来て良かったです。	A. 成果・効果があった  アンケートでは「参加により不安の軽減できた」が9割以上であり、介護家族の交流や負担軽減の場となっている。	A. 現状どおり推進		なし

	NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
内容の充実 まちづくり	84	介護予防講演会 自分らしく健康な生活を続けることができるよう、介護予防に関する正しい知識の普及啓発を行い、健康寿命の延伸を図る。年1回健康生活月間を設け、講演会や介護予防事業体験会を通して普及啓発を行う。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 ◇◆指標と実績◆◇ 【平成31年度講演会参加者へのアンケート結果】 講演会参加者へのアンケートより、『わかりやすい』80%	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進	なし	高齢者支援課	
	85	高齢者虐待防止講演会 高齢者虐待に関する正しい知識の普及を図るとともに、地域の見守りによる虐待防止の体制づくりについて紹介し啓発を図る。	実施日:令和4年3月27日 内容:春に考える虐待対応 ～虐待対応は怖くない～ 講師:ななつぼし法律事務所 神保 正宏 参加者:19名 ◇◆指標と実績◆◇ 【虐待防止講演会参加者数】19名。	A. 成果・効果があった 高齢者だけでなく、障害者、子ども、夫婦間などあらゆる種類のバイオレンス対策に対して共通する課題について学び整理することができた。	A. 現状どおり推進	昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったが、虐待に関する相談件数が増加していることから、実施することとなった。	高齢者支援課	
基本目標 2 ③多様化	86	遊具うんどう教室 生活習慣病予防のため、運動の習慣化を目指し、うんどう遊具を利用した運動の実践などの健康情報の提供や、地域ぐるみで支え合う健康づくりの支援を行う。	【場所・日程・参加者】 《湖北台中央公園》毎月第3火曜日(2・8月除く) 10回、延 203人 《天王台西公園》毎月第3金曜日 10回、延 83人 《布佐南公園》毎月第2水曜日(2・8月除く) 7回、延 44人 ※雨天の場合は中止 【対象者】概ね65歳以上の方 ◇◆指標と実績◆◇ 【遊具うんどう教室参加者合計数】延 330人	A. 成果・効果があった 屋外での健康づくりの拠点として、うんどう遊具が設置されている市内3地区の公園において、遊具うんどう教室を27回開催し、延330人が参加している。健康状態を維持・増進し、生活機能の低下により、要介護状態となることを予防するため、介護予防・うんどう習慣等に関する知識の普及啓発を行った結果、介護予防や健康づくりに関する意識が高まり、高齢者自らが活動に参加し、主体的に介護予防に取り組む姿勢がみられている。また、参加者同士が交流することで、閉じこもり予防にも繋がっている。  木製のうんどう遊具を設置してから20年近く経過し、老朽化や破損等による補修・撤去の必要性が多く出てきている。	A. 現状どおり推進	なし	高齢者支援課	

No	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
87	<b>環境学習の推進</b>  小学生を対象に、簡単な実験や 廃材利用の工作等の学習機会 を提供し、身近な環境や生物多 様性・廃棄物・資源やエネル ギーについて関心や探究心を深 める。また、それらと手賀沼との 関わりを伝えることで、手賀沼の 浄化啓発を図る。	○夏休みの環境学習 ≪プランクトンをつかまえて顕微鏡で観察しよう！≫ 【日程】8月11日(水)及び8月20日(金) 【場所】水の館 研修室 【対象】小学生20人(小学3年生以下保護者同伴) ≪紙粘土で花瓶を作ろう！≫ 【日程】8月12日(木)・8月19日(木) 【場所】アビスタホール 【対象】小学生20人(3年生以下保護者同伴) ≪船から見る手賀沼のふしぎ(船上学習)≫ 【日程】7月28日(水) 【場所】手賀沼公園 【対象】小学生30人(3年生以下保護者同伴) ≪カヌー体験学習in手賀沼≫ 【日程】8月22日(日) 【場所】手賀沼親水広場 【対象】小学生以上27人  ○ネイチャーイン 春 【日程】4月24日(土) 【場所】利根川・布佐 【対象】20人 夏 【日程】7月31日(土) 【場所】谷津ミュージアム 【対象】50人 秋 【日程】11月20日(土) 【場所】谷津ミュージアム 【対象】20人 冬 【日程】1月23日(日) 【場所】手賀沼 【対象】30人  ○その他の環境学習 ≪手賀沼水辺探検≫ 【日程】10月3日(日) 【場所】フィッシングセンター 【対象】小学生25人 ≪ミニ手賀沼で生きものしらべ≫※県主催事業 【日程】7月17日(土) 【場所】ミニ手賀沼 【対象】小学生50人 ≪バードフィーダー作り≫ 【日程】12月11日(土) 【場所】水の館 研修室 【対象】20人(小学4年生以下保 護者同伴) ≪紙飛行機工作と飛行大会≫ 【日程】2月19日(日) 【場所】水の館 研修室 【対象】20人(小学生以下保護者同 伴) ◇◆指標と実績◆◇ 【夏休み環境学習4事業参加者】 112人 【ネイチャーイン参加者】 102人 【その他の環境学習4事業参加者】 80人	A. 成果・効果があった  各事業とも夏休み・冬休み等のイベントと して需要が高く、参加した子供だけでな く、親の反応が良かった。 それ以外のイベントも、親子だけでなく大 人一人で参加しても好評であった。	A. 現状どおり推進  現状どおり推進	なし	手賀沼課	
88	<b>消費生活講座</b>  消費者の多様化するトラブルを 防止するのに必要な情報を市民 に提供するため、消費生活相談 員や外部講師による消費生活 講座を開催する。	●出前講座 他 ①【日程】令和3年8月27日 【場所】湖北地区公民館 【参加者】44名 賢い消費者になるために ②【日程】令和3月10月10日 【場所】柏市会議室GOODTRIP 【参加者】30名 市民後見人養成講座 ③【日程】令和3年11月5日 【場所】けやきプラザ 【参加者】35名 老後の安心講座 ④【日程】令和3年12月20日 【場所】中央学院大学 【参加者】53名 消費者被害の動向と若者に気を付けて欲しいこと ⑤【日程】令和3年12月11日 【場所】アビイホール 【参加者】89名 海洋プラスチック汚染の現状と対策(東京農工大学 高田教授) ⑥ふれあいサロン 【日程】4、5、9、12月開催 【場所】アビスタ他 【参加者】計138名  ◇◆指標と実績◆◇ 【全ての講座の参加人数】 389名	A. 成果・効果があった  市民後見人養成講座については、NPO 法人から依頼があり新規に行うことが でき、啓発することができた。	A. 現状どおり推進  事業としては、現状どおり 推進すべきと考えている が、新型コロナウイルス感 染の影響により、対策を講 じて行う必要がある。	なし	商業観光課	



NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
3 たつてさまざまな学びのできるまちづくり 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040 1041 1042 1043 1044 1045 1046 1047 1048 1049 1050 1051 1052 1053 1054 1055 1056 1057 1058 1059 1060 1061 1062 1063 1064 1065 1066 1067 1068 1069 1070 1071 1072 1073 1074 1075 1076 1077 1078 1079 1080 1081 1082 1083 1084 1085 1086 1087 1088 1089 1090 1091 1092 1093 1094 1095 1096 1097 1098 1099 1100 1101 1102 1103 1104 1105 1106 1107 1108 1109 1110 1111 1112 1113 1114 1115 1116 1117 1118 1119 1120 1121 1122 1123 1124 1125 1126 1127 1128 1129 1130 1131 1132 1133 1134 1135 1136 1137 1138 1139 1140 1141 1142 1143 1144 1145 1146 1147 1148 1149 1150 1151 1152 1153 1154 1155 1156 1157 1158 1159 1160 1161 1162 1163 1164 1165 1166 1167 1168 1169 1170 1171 1172 1173 1174 1175 1176 1177 1178 1179 1180 1181 1182 1183 1184 1185 1186 1187 1188 1189 1190 1191 1192 1193 1194 1195 1196 1197 1198 1199 1200 1201 1202 1203 1204 1205 1206 1207 1208 1209 1210 1211 1212 1213 1214 1215 1216 1217 1218 1219 1220 1221 1222 1223 1224 1225 1226 1227 1228 1229 1230 1231 1232 1233 1234 1235 1236 1237 1238 1239 1240 1241 1242 1243 1244 1245 1246 1247 1248 1249 1250 1251 1252 1253 1254 1255 1256 1257 1258 1259 1260 1261 1262 1263 1264 1265 1266 1267 1268 1269 1270 1271 1272 1273 1274 1275 1276 1277 1278 1279 1280 1281 1282 1283 1284 1285 1286 1287 1288 1289 1290 1291 1292 1293 1294 1295 1296 1297 1298 1299 1300 1301 1302 1303 1304 1305 1306 1307 1308 1309 1310 1311 1312 1313 1314 1315 1316 1317 1318 1319 1320 1321 1322 1323 1324 1325 1326 1327 1328 1329 1330 1331 1332 1333 1334 1335 1336 1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346 1347 1348 1349 1350 1351 1352 1353 1354 1355 1356 1357 1358 1359 1360 1361 1362 1363 1364 1365 1366 1367 1368 1369 1370 1371 1372 1373 1374 1375 1376 1377 1378 1379 1380 1381 1382 1383 1384 1385 1386 1387 1388 1389 1390 1391 1392 1393 1394 1395 1396 1397 1398 1399 1400 1401 1402 1403 1404 1405 1406 1407 1408 1409 1410 1411 1412 1413 1414 1415 1416 1417 1418 1419 1420 1421 1422 1423 1424 1425 1426 1427 1428 1429 1430 1431 1432 1433 1434 1435 1436 1437 1438 1439 1440 1441 1442 1443 1444 1445 1446 1447 1448 1449 1450 1451 1452 1453 1454 1455 1456 1457 1458 1459 1460 1461 1462 1463 1464 1465 1466 1467 1468 1469 1470 1471 1472 1473 1474 1475 1476 1477 1478 1479 1480 1481 1482 1483 1484 1485 1486 1487 1488 1489 1490 1491 1492 1493 1494 1495 1496 1497 1498 1499 1500 1501 1502 1503 1504 1505 1506 1507 1508 1509 1510 1511 1512 1513 1514 1515 1516 1517 1518 1519 1520 1521 1522 1523 1524 1525 1526 1527 1528 1529 1530 1531 1532 1533 1534 1535 1536 1537 1538 1539 1540 1541 1542 1543 1544 1545 1546 1547							

	NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容		令和4年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
わたってさまざまな学びのできるまちづくり	92	<b>生涯学習推進事業</b>  我孫子市の生涯学習を推進するにあたり、講演会、学習の場の提供等を通して、学びが人づくりとなり、人と人の交流を生み、まちづくりにつながるよう生涯学習推進事業を開催する。	●東京2020応援プログラム目指せ！テアリーダー！ 【日程】4月25日、5月23日、6月6日、6月20日 【場所】アビスタホール 【参加者】49人 【講師】中央学院高等学校  ●運動会で速く走れる！未来のオリンピック走り方教室 【日程】10月10日（日） 【場所】手賀沼公園 【参加者】29人 【講師】中央学院大学 小林敬和教授  ●親子deミニ門松づくり～手作りでお正月～ 【日程】12月25日（土） 【場所】アビスタ第2学習室 【参加者】親子8組16人 【講師】ちばテク我孫子校  ●段ボールで作る恐竜チェア 【日程】12月25日（土） 【場所】アビスタエ芸工作室 【参加者】親子6組12人 【講師】ちばテク我孫子校  ●ペップトーク～やる気を引き出す魔法の言葉（職員研修） 【日程】2月17日（木） 【場所】アビスタミニホール 【参加者】21人 【講師】加圧トレーナー西山崇子さん ◇◆指標と実績◆◇ 【延べ参加者数】260人	A. 成果・効果があった 講座を通じて学ぶことやモノづくりの楽しさを知ってもらい、生涯学習に興味を持っていただけた。また、地域で活躍する方々を講師とすることで、講座参加者に地域への愛着等も感じていただけた。	A. 現状どおり推進	事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課
			<b>人権教育</b>  地域で活動する社会教育関係者及び市民を対象に、社会に存在する様々な人権問題（外国人・男女・子ども・高齢者・障がい者など）について学習する機会を提供し、社会教育活動及び学習活動にいかしてもらおう。	●社会人権教育指導者養成講座 【日程】第1回：9月10日（木）、第2回：10月14日（水）、第3回：11月11日（水） 【場所】千葉県総合教育センター 【対象者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者 【内容】講演及び演習 講演内容：インターネット人権侵害、性の多様性、いじめ、被差別部落、視聴覚障害、男女共同参画、児童虐待、DV及び外国人母子家庭 ●社会人権教育地区別研修会 【日程】9月9日（水） 【場所】さわやかちば県民プラザ 【対象者】市内小中学校教職員、保護者、教育委員、社会教育委員、人権擁護委員及び関係各課職員 【内容】①講演「情報機器の使い方、変わっていくものと、変わらないもの」 講師：NPO法人 企業教育研究会 市野 敬介 氏 ②千葉県の人権教育  ◇◆指標と実績◆◇ 【人権教育地区別研修会参加者数】8名	A. 成果・効果があった 参加者からは、とても参考になったという声があった。	A. 現状どおり推進	
基本目標 2 生涯にわたる	93						



NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり		基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり			基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり		
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実		①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実			①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実		
97	<b>市民農園維持管理事業</b>  消費者が、生産者と身近な場で交流し、農業に親しみ、農業を楽しみ、農業を育むことができるよう、市民農園などの農業体験の場の提供を行う。	・農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃) ・農園利用者の新規募集(随時) ・農園利用料の徴収(6月) ・農園利用者向け収穫体験イベントの実施(6月、9月)  ●年間を通じた市民農園の維持管理 【内容】 ・農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃) ・農園利用者の募集(随時募集、ホームページに募集記事を掲載) ・農園利用料の徴収  【市民農園の詳細】 《日秀新田市民農園》 総区画122区画のうち利用区画数100区画  ●収穫体験イベント 《じゃがいも収穫体験イベント》 【日程】令和3年6月19日(土) 【場所】日秀新田市民農園内 【参加者】63人  《落花生収穫体験イベント》 【日程】令和3年9月26日(日) 【場所】日秀新田市民農園内 【参加者】67人 ◇◆指標と実績◆◇ 【市民農園利用区画数】100区画(一般区画全122区画中)	A. 成果・効果があった  令和4年3月末時点での日秀新田市民農園利用区画数は前年同月値に比べて多少減少したが、新型コロナ対策を講じ実施した収穫体験イベントでは前年値と比べ参加者が増加した。	A. 現状どおり推進	なし	農政課	
	98	<b>親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム)</b>  水槽やパネルなどで手賀沼の生き物や市の歴史・文化について情報発信する。環境学習の場としても活用するほか、プラネタリウムやじゃぶじゃぶ池など、多くの来場者が訪れる水環境保全啓発施設として運営する。	水の館内の各展示や講座により水環境保全啓発、環境学習、歴史・文化の学習の場を提供する。また、土日祝日にプラネタリウムの定時上映も行うほか、テーマ番組に合わせた展示、CDまたは生演奏と合わせた上映を4回と星空たんけん観望会を3回実施した(観望会は、感染症拡大防止のため1回中止、開催した3回のうち、2回は曇天のためプラネタリウム鑑賞となった。) ◇◆指標と実績◆◇ 【プラネタリウム投影事業参加者合計】771回上映、10,205人 【星空たんけん観望会】3回実施 63人	A. 成果・効果があった  プラネタリウム定時上映については、土日祝日に1日6回ずつ投影を行うほか、平日は10人以上で団体貸切を行った。また、夏休みと春休み期間は、水曜日を除く平日も1日2回投影を行ったことで、親水広場に多くの入場者に来ていただき、水環境保全啓発施設としての利用も促進された。  今後も水の館の展示内容・環境学習等さらに充実させ、水環境保全に興味・関心を持ってもらう場として活用を図る必要がある。	A. 現状どおり推進 現状どおり推進		コロナの状況を見ながらじゃぶじゃぶ池の実施を検討

基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり

	NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	100	新たな文化交流拠点施設整備の検討  新たな文化交流拠点施設の整備に向けて、令和元年5月にまとめた「我孫子市文化交流拠点施設建設構想案」をもとに機能規模の集約をするなど、「建設構想」策定に向けて、議会や市民の意見を聴きながらさらに検討を進めていく。	令和元年5月にとりまとめた「我孫子市文化交流拠点施設建設構想(案)」をもとに、施設のホール等の規模、機能等について、これまでの経過及び建設構想(案)による3つのパターンについての説明や意見徴収を文化連盟役員と行った。 ◇◆指標と実績◇◆ 【「建設構想」策定の進捗率】10%  施設の規模、機能等を一気に集約すること。	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進	eモニターアンケートの実施、文化連盟役員にeモニターアンケートの集計結果を説明。年度内にアビスタや湖北地区公民館のホール利用者に対し、ホールの規模についてアンケートを実施。	企画政策課、生涯学習課	
	101	地域交流教室の提供  学校の一部を市民の学習拠点として有効活用し、学習サークルや自治会などに学習の場を提供する。	地域における大人と子どもの交流や学習等の様々な活動を支援する場として、引き続き地域交流教室の利用をPRをしていく。 【使用料】4時間ごとに100円 【使用料免除対象】 ・学習活動(高校生以下の方が1人以上参加するものに限る)を行う場合 ・その他教育委員会が必要であると認める場合 【使用形態】 月～日曜日の9時～21時(高野山及び布佐小学校は、月～土曜日の18～21時及び日曜日の9～21時) 【場所】 第一小学校、布佐小学校、湖北台西小学校、高野山小学校:1教室、 第一小学校:371件(稼働率35.4%) 11団体 布佐小学校: 54件(稼働率11.5%) 2団体 湖北台西小学校:312件(稼働率29.0%) 10団体 高野山小学校:134件(稼働率29.3%) 6団体 ※湖北台東小学校(2教室)は閉鎖。ヤング手賀沼使用の為。  ◇◆指標と実績◇◆ 【提供コマ数】3051コマ 【予約コマ数】871コマ 【有料使用コマ数】250コマ	A. 成果・効果があった 市民団体やサークル等の交流や学習拠点として使用され、様々な活動を支援した。	A. 現状どおり推進	湖北台東小学校の1教室を地域交流教室として使用。事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課	
	102	公民館施設管理運営  生涯学習センターの建物敷地の適正な維持管理を行い、市民の学習環境を整備をする。	生涯学習センター総合管理運営委託業務により、施設管理、施設運営、清掃業務、警備業務を東進ビルシステムに委託し、円滑な管理運営を進めた。 また、施設の修繕や定期点検を実施した。 ・修繕 自動ドア修繕、GHP修繕、雨漏り修繕、駐車場照明増設工事 等 ・定期点検 建築設備定期検査、建築物定期検査 ・樹木剪定、草刈業務 ◇◆指標と実績◇◆ 【保守管理執行率】 100% 生涯学習センター防災設備改修工事の設計業務を委託を実施した。 生涯学習センター空調設備改修工事に伴う管理業務委託および空調設備改修工事を実施した。	A. 成果・効果があった 空調設備改修工事の実施や急遽発生した施設の修繕を行い、市民が安全に利用できるよう施設の維持管理を行うことで市民サービスの向上に繋がった。  施設の経年劣化が進行しているため、計画的な修繕が必要である。	A. 現状どおり推進 施設修繕計画に沿って、施設修繕箇所に対する適切な対応を行いたい。	前年度設計した防災設備改修工事を実施する。事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課	
	104	フリースポット(Wi-Fi)の提供  無線LAN(Wi-Fi)の利用状況や要望の把握を行いながら、公民館等の公共施設に無線LAN(Wi-Fi)を利用できる設備を整備しパソコン等のバケット通信が快適に利用できる環境を整える。	生涯学習センター「アビスタ」の2階オープンスペースにてインターネットを接続する方を対象に、インターネット環境の提供をした。  ◇◆指標と実績◇◆ 【無線LAN設置箇所】 1箇所	A. 成果・効果があった  機器の更新を行ったが、1階の一部と2階オープンスペースまでしか電波が届かず、学習室内で使用ができない。	B. 改善・見直しを行う 今後、無線LAN(Wi-Fi)を利用できるエリア拡大に向け、インターネット接続環境を整備をしていく。	事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	105	施設予約システムの運用 公民館をはじめとした学習施設の空き状況や施設利用の予約等について、施設の窓口の他にインターネットを利用したシステムを運用し市民の利便性の向上を図る。	令和2年度に引き続き、ちば施設予約システムを利用した。 ◇◆指標と実績◆◇ 【我孫子地区公民館】 利用件数 6,674 利用者数 73,877人 【湖北地区公民館】 利用件数 2,693 利用者数 42,363人	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課 市民活動支援
	106	市民体育館管理運営 指定管理制度を活かし、良質な自主事業の提供などサービスを一層充実させるとともに、民間のノウハウを活かし利用しやすい施設づくりを進める。	アクティオ・フクシ共同事業体に指定管理の委託 平成30年度から再度、5年間アクティオ・フクシ共同事業体に指定管理者が決定 ◇◆指標と実績◆◇ 【市民体育館利用者数】 140,602人	A. 成果・効果があった 指定管理者制度を利用することで、様々なプログラムを提供することができ、市民の健康保持・増進に大きく寄与している。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
	107	体育施設管理運営事業、維持補修 「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、利根川ゆうゆう公園や湖北台中央公園、手賀沼公園の設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期修理、計画的な修繕を実施する。また、五本松運動広場をより市民のスポーツ利用が図れるよう改修整備を行う。	必要に応じて適宜対応していく。 ●維持管理 ・布佐下多目的広場・五本松運動広場整備業務 ●管理運営 ・つくし野多目的広場管理運営・浅間前多目的広場草刈 ●施設修繕 ふれあいキャンプ場テーブルベンチ修繕、五本松運動広場トイレ修繕、布佐下多目的広場仮設トイレ修繕、ふれあいキャンプ場ろ過槽ポンプ及びガイドレール交換、上沼田野球場飲料水用塩素滅菌機本機交換修繕 ◇◆指標と実績◆◇ 【体育施設利用者数】 79,959人	A. 成果・効果があった 市民が安心・安全に利用することができた。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
	108	武道施設の建設整備の検討 全国総合体育大会、国民体育大会で、なぎなた競技を我孫子市で開催したことや中学校の武道の必修化に伴い、日本古来からの伝統文化でもある武道のより一層の振興を図るため、武道施設の建設整備のを検討する。	引き続き地権者交渉を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【整備進捗率】 0%	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
	109	市民体育館維持補修、改修事業 「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、市民体育館の設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期修理、計画的な修繕を実施する。	計画的に維持補修・改修を実施 ●維持補修 ・テニスコート休憩棟屋根修繕 ・浄化槽蓋及びタラップ交換修繕 ・送風機修繕 ・原材料の購入 ●改修 ・市民体育館ラウンジ・会議室系統空調設備更新工事に伴う設計業務委託 ◇◆指標と実績◆◇ 【修繕・改修工事の進捗率】 100%	A. 成果・効果があった 市民が安心・安全に利用することができた。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	110	学校体育施設開放事業	●プール開放事業 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	A. 成果・効果があった 地域のスポーツ振興に寄与することができた。	A. 現状どおり推進	コロナ禍ではあるが行動制限が緩和されてきたためプール開放を3年ぶりに実施。	文化・スポーツ課	
		市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しめることができる環境を整備するため、学校施設である体育館、校庭、武道場を一般開放する。また、市民プールの代替施設として小学校の夏季休業期間中プールを開放する。	●学校開放事業 年間を通して開放 (新型コロナウイルス感染症の影響により一部利用休止) ◇◆指標と実績◇◆ 【プール開放利用者数】0人(中止) 【学校体育館・校庭・武道場利用者数】107,728人	プール開放については、利用料金を徴収していないため、経費削減を図る必要があり引き続き開放校数の検討が必要である。				
		ふれあいキャンプ場管理運営	市民に安心・安全にキャンプを楽しめる場を提供する。 ◇◆指標と実績◇◆ ●ふれあいキャンプ場利用 【キャンプ場利用数】671件(3,356人)	A. 成果・効果があった 我孫子の魅力発信となっている。	A. 現状どおり推進	なし		文化・スポーツ課
112	文化財等の保存と活用	新型コロナウイルス感染症予防のため、例年行われている文化財展、竹灯籠のタベ、ひなのまつりは中止となった。代わりに「旧村川別荘ひなのまつり出張展「華」で遊ぶ」をアピスタ2階の展示スペースで行った。(令和4年2月22日(火)～3月7日(月)) ◇◆指標と実績◇◆ 旧村川別荘来場者数 4119人	A. 成果・効果があった 文化財を保存するだけでなく、整備し活用することで、多くの人々に文化財が持つ魅力を知ってもらう良い機会となった。	A. 現状どおり推進 新型コロナウイルス感染症に十分注意しつつ、できる範囲で推進していく。	なし	文化・スポーツ課		
	市内に残る文化財を保存・活用することにより、我孫子の歴史の意義を広く市民に理解してもらえるようにする。具体的には、価値ある文化財を保存、整備し、それらを一般公開し、誘導板や説明板等の整備を行う。また、歴史資料や考古遺物などの整理、研究の成果を分かりやすく伝える文化財展などの企画・イベントや施設運営等を実施する。							

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 3 多様な学びの場のあるまちづくり	113 杉村楚人冠邸の保存と活用	杉村楚人冠記念館の建物と資料を保存し、杉村楚人冠について広く市民に知ってもらえるよう活用を図る。具体的には、資料の調査・研究から判明したことをまとめ展示を行い、その展示をより理解してもらうために、施設内のガイド、報告書の刊行やワークショップ、講演会などを実施する。	【展示】 ○企画展(前年度3月9日から継続)5月9日(日)まで 「観光案内と地図で見る楚人冠の旅～欧米編」入館者427人(年度内のみ) ○テーマ展示 5月15日(土)～7月11日(日) 「楚人冠の本棚 楚人冠のジャーナリズム文庫」入館者501人 ○企画展 7月13日(火)～10月10日(日) 「弱者へのまなざし—幸徳秋水・塚利彦・杉村楚人冠の交流—」入館者420人 ○企画展 10月17日(日)～令和4年1月16日(日) 「『禪』が結んだ人びと—釈宗演と楚人冠の周辺—」入館者661人 ○テーマ展示 1月18日(火)～3月13日(日) 「てがみ展 楚人冠の随筆に登場する人々」入館者251人 ○企画展 3月15日(火)～来年度5月15日(日)まで 「楚人冠がみた舞台芸術—オペラ・演劇・舞踊」入館者86人(年度内のみ)  【イベント】 ○第9回楚人冠講座 6月12日(土) 「杉村楚人冠の人と作品2」講師:高木大祐(杉村楚人冠記念館学芸員) 参加者18人 小林康達氏(元市嘱託職員) ○講演会 9月26日(日) 「大逆事件針文字書簡の発見」講師:小林康達氏(元我孫子市市史編纂委員)参加者25人 ○第10回楚人冠講座 11月27日(土) 「楚人冠と漱石で読み比べる『禪』」講師:高木大祐(杉村楚人冠記念館学芸員) 参加者20人 ◇◆指標と実績◆◇ 【来訪者(年間)】 2339人	A. 成果・効果があった 新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったイベントもあるが、講演会などは予定していた回数を実施することができた。  質の高い展示、講演会を実施しつつ、来訪者の増加と認知の向上を目指し、学生等との連携が必要になっている。	A. 現状どおり推進 杉村楚人冠資料と楚人冠邸の魅力アップさせるため、白樺文学館やほかの文学館と連携した展示やイベントを実施する。	なし	文化・スポーツ課
	114 旧井上家住宅の保存と活用	なし ◇◆指標と実績◆◇ 引込線改修工事、警備設備撤去等工事を予定通り実施した(11月から12月は休館)。	A. 成果・効果があった 引込線改修工事、警備設備撤去等工事を予定通り実施した(11月から12月は休館)。  保存整備箇所を維持しつつ、適切に活用していく必要がある。	A. 現状どおり推進 邸内全域の保存整備工事を完了を目指しつつ、部分公開事業などを積極的に推進する。	なし	文化・スポーツ課	
	115 白樺文学館の運営	大正期に我孫子に居を構えた白樺派の足跡を広く知ってもらうため、所蔵資料や作品などを活用し、企画展やイベントを実施する。	【展示】 ○常設テーマ展 3月3日(水)～6月27日(日) 「白樺派と我孫子2021」前期(志賀直哉没後50年 開館20周年) 入館者1059人 ○常設テーマ展 8月3日(火)～11月14日(日) 「白樺派と我孫子2021」後期(志賀直哉没後50年 開館20周年) 入館者838人 ※途中6月29日から8月1日まで空調工事により臨時休館 ○企画展 11月17日(水)～令和4年2月28日(日) 「山田百合子と原田京平—我孫子への物語—」入館者1033人 ○常設テーマ展 3月1日(火)～9月25日(日) 「民藝運動と我孫子」入館者249人(年度内のみ)  【イベント】 ○講演会 12月4日(土) 「我孫子の風景を読む—志賀直哉たちが見た我孫子の景観—」 講師:小山泰弘氏(長野県林業総合センター林業専門技術員 農学博士) 参加者21人 ○白樺の調べ(朗読・ピアノ・学芸員トークイベント)→中止 ○朗読講座→中止 ◇◆指標と実績◆◇ 【入館者(年間)】 2977人	A. 成果・効果があった 空調設備更新工事を予定通り実施した。  「白樺文学館リニューアル計画」を進めるためにも、寄付など財源の確保につとめる。	A. 現状どおり推進 白樺派の魅力を多くの方に知っていただけるようなコラボイベントを推進していく。	なし	文化・スポーツ課



NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 3 多様な学びの場のあるまちづくり	117 移動図書館業務	<p>○移動図書館そよかぜ号が(祝日も含め)水・木・金に市内15ステーションを巡回して、貸出・返却等のサービスを提供した。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により、学校巡回専用の新しい移動図書館車両を購入し、令和3年10月から市内小学校12校、中学校1校に巡回を開始し、令和3年度下半期は移動図書館車2台での運行になった。</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 【移動図書館巡回ステーション年間貸出冊数】 42,014冊 (前年比 169.4%)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>天候により巡回中止となる場合もあったが、定期的に移動図書館を運行し、アピスタ本館・湖北台分館・布佐分館に来館しにくい高齢者や乳幼児連れの親子に対して学習の場を提供することができた。小学校12校、中学校1校の児童・生徒に読書活動の場を提供することができた。</p> <p>利用の少ないステーションに対して、引き続き利用が増えるようPR等工夫する必要がある。また、状況に応じてステーションの廃止または変更の検討も必要である。現移動図書館車は平成13年7月に車両を更新してから20年が経過しており不具合も増えてきた。運行困難の判断をし、再利用の方法を検討する必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>移動図書館車の購入については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、学校巡回用に購入できた。旧車両は不具合が多いため運行には不安がある。新車両への移行を検討する。</p>	<p>令和4年度から学校巡回と通常巡回を統合して、新車両での運行を行うため、大幅な巡回日程の変更を行った。また2ステーションの廃止、新規3ステーションの巡回、各週土曜日も運行することにした。(17ステーションへ巡回)</p>	図書館	
	118 図書館の整備	<p>○新型コロナウイルス感染症により、利用機会の減った子どもへの利用を促すため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、新しい移動図書館車両を購入した。</p> <p>○令和3年10月から市内小中学校の巡回を開始した。</p> <p>○同じく臨時交付金を活用し、布佐分館1階の男女トイレの様式化を行った。</p> <p>○地方債を活用し、アピスタ本館の床修繕を行った。</p> <p>○図書館の管理・運営計画を見直し、今後10年間を見据えた「図書館運営 今後のあり方」を策定した。</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 【館内会議における進行管理報告と見直しの協議】 2回(ただし館内会議での進行管理報告として)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>図書館運営の今後のあり方を策定することができた。地方創生臨時交付金を活用し、新しい移動図書館車の導入やトイレの改修工事を実施することができた。</p> <p>厳しい財政状況の中で、図書館サービスの質を保ちながら運営方法を検討していく難しさがある。また、長寿命化計画にそった施設整備をするための予算の確保が課題となっている。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>引き続き、図書館の運営形態を検討していく。長寿命化計画にそって予算措置を図っていく。</p>	<p>策定した「図書館運営 今後のあり方」をもとに、より具体的な個々のサービスを見直し、計画を立てていく。</p> <p>布佐分館外部改修工事に係る設計委託し、来年度の改修工事に向けて予算の確保、入札準備等を行う。</p>	図書館	
	119 図書館会議室及び展示スペースの提供	<p>○布佐分館会議室を貸し出した。</p> <p>○湖北台分館・布佐分館の館内壁面を作品の発表の場(ミニギャラリー)として市民に提供した。</p> <p>《布佐分館》 第一会議室(申請に応じて随時)、第二会議室(申請に応じて随時)、ミニギャラリー(年10回) 《湖北台分館》 ミニギャラリー(年11回) 《企画展示》 ・布佐分館第一会議室のギャラリー機能(スポットライト設置)を利用した市民による展示 9月25日～10月8日、野崎信一氏個展「野崎信一美学創造展」 ◆◆指標と実績◆◆ 【布佐分館会議室の年間利用回数】 94回(前年度比 361.5%)※昨年度は新型コロナウイルス感染症対策により休館していた期間あり。 【壁面ギャラリー利用率】 《布佐分館》 100% 《湖北台分館》 100%</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により活動を控える市民団体が多く、会議室の利用回数は減少したが、企画展示により第一会議室のギャラリーを利用したモデル事業を実施し、PRすることができた。</p> <p>会議室については、市役所内へ利用の呼びかけを行っているが、未利用の日もあり、一層の利用促進に努める必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>布佐地区は公民館未設置であることから、学習活動の場・地域活動の場として会議室は重要である。今後も引き続き推進していく。また、第一会議室のギャラリー機能付加による利用のPR等を行っていく。</p>	<p>令和4年6月に第一会議室ピクチャーレール設置工事を実施。5月14日～22日まで布佐分館開館35周年記念「野崎信一あびこの魅力水彩画展」を実施した。</p>	図書館	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容		令和4年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 3 ①多様な学びの場のあるまちづくり 多様な学びの場のあるまちづくり	120	鳥の博物館管理運営  博物館施設を来館者が恒久的に利用できるように、経年変化により劣化した施設設備を補修し機能を維持する。省エネに配慮した設備に転換していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設設備修繕</li> <li>・3階ベランダガラス扉隙間漏水修繕 999,000円</li> <li>照明修繕 132,000円</li> <li>・1階男子便所ウォシュレット修繕 90,000円</li> <li>・鳥の博物館排気口ウェザーカバー交換修繕(4カ所) 215,490円</li> <li>・来館者用男子トイレ和式便所タンク内フロート交換 9,350円</li> <li>・鳥の博物館複合受信機器修繕 1,100,000円</li> </ul> <p>◇◆指標と実績◇◆</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●施設設備修繕</li> <li>・3階ベランダガラス扉隙間漏水修繕 999,000円</li> <li>照明修繕 132,000円</li> <li>・1階男子便所ウォシュレット修繕 90,000円</li> <li>・鳥の博物館排気口ウェザーカバー交換修繕(4カ所) 215,490円</li> <li>・来館者用男子トイレ和式便所タンク内フロート交換 9,350円</li> <li>・鳥の博物館複合受信機器修繕 1,100,000円</li> </ul>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>不具合箇所を修繕することで、来館者の安全確保や館内環境の改善が図れた。</p> <p>施設の老朽化により、財源を確保する必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>不具合が見つかった場合は、修繕箇所の優先順位をつけ、速やかに対処するなど、快適な館内環境の維持に努めていく。</p>	<p>誘導ランプ交換修繕</p> <p>3階ベランダ軒桶落口製作加工</p> <p>3階テラスベンチ修繕</p>	鳥の博物館
	122	鳥の博物館展示リニューアル  鳥の博物館内常設展示をリニューアルし、魅力的な展示により、質の高い情報を提供できるようにする。	<p>鳥の博物館学芸員で常設展示のリニューアルに必要な情報(展示構成、展示デザイン、経費等)を収集し・整理している。また、全職員で、懸案事項を洗い出し、今、直せるもの、工夫できることの話し合いを行いながら、すぐに実行できるものについては対処した。</p> <p>◇◆指標と実績◇◆</p> <p>【資料数(年間)】</p> <p>指標: 65点</p> <p>実績: 60点</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>展示リニューアルするにあたって、有効な資料を収集できた。</p> <p>閉館以来、常設展示リニューアルを実施できていない。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>常設展示リニューアルの実現に向けて、現在の展示方法等を事業者と打ち合わせを始めた。</p>	鳥の博物館
	186	文化財保存活用地域計画の推進  市内に数多く存在する史跡や文化財をネットワーク化し、魅力を向上させて、次世代に継承していく仕組みとして平成19年度に「手賀沼文化拠点整備計画」を策定し、この整備計画に基づき先導的に我孫子駅南東地区を中心として平成30年度まで史跡の保存・整備などを実施した。今回の文化財保存活用地域計画は、手賀沼文化拠点整備計画の基本理念と合致するものであり、かつ、自然体を対象とした計画である。この計画を策定することによって、史跡の計画的かつ継続的な保存と活用につなげていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●我孫子市文化財保存活用地域計画協議会の開催 2回(6月29日、3月4日)</li> <li>●我孫子遺産周知用パンフレットの作成</li> </ul> <p>◇◆指標と実績◇◆</p> <p>文化財保存活用地域計画協議会の開催回数 想定値2回 実績値2回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>文化財保存活用地域計画協議会を予定通り実施できた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>計画に沿って文化財の保存活用を進めていくとともに、協議会内で進捗を確認する。</p>	なし	文化・スポーツ課

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用							
123	手賀沼ふれあいウォーク 手賀沼周囲のウォーキングを実施し、健康における運動習慣の重要性を啓発する。	●手賀沼ふれあいウォーク 【日程】※新型コロナウイルス感染症の流行により中止。 【主催】手賀沼ふれあいウォーク実行委員会(我孫子市、NPO法人千葉県ウォーキング協会、北総歩こう会、東葛ウォーキングクラブ、千葉県ノルディック・ウォーク連盟) ※平成30年度まで柏市と共催で実施してきたが、柏市が事業廃止したことに伴い、令和元年度より我孫子市単独で、実行委員会形式をとって実施している。  ◇◆指標と実績◆◇ 【手賀沼ふれあいウォーク参加者数】 ※新型コロナウイルス感染症の流行により中止したため実績なし	C. 未実施・わからない ※新型コロナウイルス感染症の流行により中止したため。	C. 廃止・休止 新型コロナウイルス感染症の流行により、中止となる。	②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用 なし(前年度同様、新型コロナウイルス感染症の感染状況の見通しが立たず中止。)	健康づくり支援課	
124	近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進 近隣市町との体育施設の相互利用や、民間等の体育施設の一般開放を進めることにより、市に不足している施設を補充し市民が気軽にスポーツに触れ楽しめる環境を整備する。	茨城県取手市と体育施設の相互利用を実施 ミナトスポーツクラブ天王台の民間施設利用 川村学園女子大学の一般開放 ◇◆指標と実績◆◇ 一般開放している近隣市町・民間企業等の体育施設の数	A. 成果・効果があった 我孫子市内に整備されていない施設を市民が利用することでスポーツに親しむことができた。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課	
125	手賀沼エコマラソン支援事業 「よみがえる手賀沼をさわやかに走ろう!」をキャッチフレーズに、「手賀沼の浄化」と「地域の活性化」をランナーとともにアピールするため、柏市と共同でマラソン大会を開催する。	●第27回手賀沼エコマラソン 【日程】10月31日(日) 【対象】 ・18歳以上の健康で、ハーフマラソンを2時間30分で完走できる者 ≪柏・我孫子市民枠≫3,000人 ≪一般枠≫7,000人 【距離】21.0975km(柏ふるさと公園スタート・ゴールのハーフマラソン) 日本陸連公認大会 【募集人数】10,000人 【目的】 (1)手賀沼浄化啓発活動の推進 (2)自然と調和し共存する手賀沼をアピール (3)健康増進の昂揚 (4)社会の活性化とスポーツ文化の振興 【共催】柏市 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ◇◆指標と実績◆◇ 【手賀沼エコマラソン参加者数】0人(中止)	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進	コロナ対策を実施しながら3年ぶりに開催することとなった。	文化・スポーツ課	
126	市外図書館・大学・関係機関との連携協力 千葉県立図書館・県内市町村立図書館・国会図書館・大学図書館など関係機関と連携して、図書資料の相互貸借や図書館の相互利用を行い、市民の幅広いニーズに対応する。	○千葉県立図書館巡回車(週1回水曜日)による県内図書館相互貸借業務 ○相互協力担当者会議(年1回) ○市内大学との連携による利用紹介状発行・図書相互貸借業務…新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大学側からの申し入れにより停止。 ○国会図書館・大学図書館・県外公共図書館との図書相互貸借業務 ○千葉県公共図書館協会事務、第3ブロック幹事館事務 <事業> ○国立国会図書館デジタル化資料複写 11件 459枚  ◇◆指標と実績◆◇ 【年間相互貸借冊数】7,284冊	A. 成果・効果があった 専門的なことや、多種多様な市民の要望に対し、広くその要望に応えることができた。  全国の同規模の図書館の中でも図書館間借受冊数が上位に位置しているように、相互協力による借受は活発であるが、必要な資料は揃えることができるよう資料費の確保に努める必要がある。	A. 現状どおり推進 市民の多様な資料要求に対応するため、市外図書館、大学図書館、関係機関との連携・協力は不可欠であり、今後も継続して推進していく。	令和4年7月から、中央学院大学との相互協力を再開。紹介状の発行も再開されたが、手続きが1年更新に変更された。 川村学園女子大学とは資料の相互貸借を続行。ただし、紹介状の発行再開は未定。	図書館	

基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり		基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり			基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり		
①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充		①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充			①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充		
127	(No.91再掲) 生涯学習出前講座の運営						生涯学習課
128	生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録 自ら培った経験や技術、知識を地域に活かし、市民の生涯学習活動を積極的に応援していただける方を「市民講師」として登録し、まちの生涯学習のリーダーとして、市民の生涯学習のきっかけづくりを行ってもらうとともに、学びの輪を地域に広げてもらう。	生涯学習出前講座、市民講師メニューの講師として登録し、講座を提供する。 【講座登録数】(令和3年4月現在) 市民講師メニュー 138 講座 【講師登録数】(令和3年4月現在) 講師: 44 人 団体: 9 団体 ◆◆指標と実績◆◆ 【新規登録数】人材情報: 1人 団体情報: 0団体	A. 成果・効果があった 市民講師講座数が増え、メニューが充実した。講師の方には積極的に市民の学習活動の支援に取り組んでもらった。	A. 現状どおり推進 出前講座のPRの中に、市民講師へ登録の内容も盛り込み、登録数を増やす。	事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。		生涯学習課
129	(No.23再掲) 生涯学習人材バンクの整備						生涯学習課
130	アビスタ利用者保育スタッフ事業 生涯学習施設を利用する子育て中の利用者のために、保育スタッフを活用して一時保育の環境を充実させ、学びたい時に学べる学習機会の提供を図る。	【日程】4月～3月の水曜日、公民館主催事業日 全39回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1月22日から3月21日の期間は 休止 【場所】生涯学習センターアビスタ 託児室 【内容】子ども連れの公民館・図書館利用者の子どもの託児 【対象】子育て中の生涯学習施設利用者 <託児対象児>2歳から就学前までの幼児 ◆◆指標と実績◆◆ 【保育利用者】 27 人 【利用者内訳】 ≪毎週水曜日≫ 【利用回数】 38回 【利用者】 27人 ≪公民館事業(家庭教育学級、単発講座及び図書館講座)≫ 【利用回数】 1回 【利用者】 0人	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。		生涯学習課
131	(No.24再掲) 生涯学習ボランティア						生涯学習課
132	文化事業市民スタッフの活用 教育委員会が主催・共催する文化事業の実施にあたって市民スタッフを活用し、受付、設営、会場整理等の業務を行う。	市民の自主的な参加協力により、地域の文化活動を支援する事業を教育委員会の主催で実施する。 【委嘱期間】4月1日～3月31日 【委嘱人数】 25人 【派遣件数】 2件 【派遣人数】 21人 【派遣件名】 子どものための舞台鑑賞事業、郷土芸能祭 【業務内容】 受付、ドアマン、影アナ 他 ◆◆指標と実績◆◆ 【登録人数】 25人	A. 成果・効果があった 市民スタッフを派遣することで、舞台運営を円滑に行うことができた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、市主催の事業が減少したため、動員機会が減った。	A. 現状どおり推進	なし		文化・スポーツ課

基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充							
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	133	<b>防災士及び災害救援ボランティア育成事業</b>  防災士と災害救援ボランティアの認証資格の取得を支援し防災リーダーを育成することで、互助による「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域の原点を自然発生的に芽生えさせ、自主防災組織の組織化と活性化により、我孫子市における防災力や減災力の質的向上に努める。	<b>●災害救援ボランティア補助金交付</b> 防災士及び災害救援ボランティア認証資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 <b>【日程】</b> 随時 <b>【補助額】</b> 受講料の3分の2以内、一般：9,200円・学生：6,700円を上限とする。 <b>【対象者】</b> 市民、市内の大学在学者、市内の事業所在勤者  <b>●防災士補助金交付</b> 防災士の資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 <b>【日程】</b> 随時 <b>【補助額】</b> 受講料、試験料及び登録料の3分の2以内、4万円を上限とする。 <b>【対象者】</b> 市民(自治会、自主防災組織の推薦を受けた者) ◇◆指標と実績◆◇ <b>【災害救援ボランティア講座 助成者数】</b> 一般 21人 学生 4人 <b>【防災士 助成者数】</b> 1人	A. 成果・効果があった  コロナ禍の影響で、2年ぶりに市内で災害救援ボランティア講座が実施された。多くの方の資格取得があり、地域での防災力、減災力の向上につながっている。	A. 現状どおり推進	なし	市民安全課
	135	<b>介護予防サポーター養成講座</b>  高齢者が住み慣れた地域の通いの場において介護予防の取り組みが行えるよう、団体リーダー(シニアリーダー)向けに研修会(フォローアップ研修含む)を実施します。また、研修に参加したリーダーが、日頃の活動において介護予防の普及・啓発が行えるよう支援します。	3回1コース、前期1コース、後期3コース 28団体、57名 <b>【講話】</b> 介護予防について <b>【実践】</b> 栄養について ストレッチ、筋トレ、バランス 尿もれ予防体操 認知症予防運動 拮抗体操、口腔体操 ◇◆指標と実績◆◇ <b>【研修会参加者へのアンケート結果】</b> 研修会参加者のうち、「満足」と回答した方が約9割おり、研修会で実施した「筋トレや認知症予防運動等」のプログラムを日々の活動に取り入れてたいと回答があった。	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進	なし	高齢者支援課
	136	<b>子育てサポーター養成講座</b>  核家族化により子育てに不安を持つ世帯の増加や、地域・家庭における子育て力の低下が認められる中、地域における子育て力を強化するため、子育てを支援する人材を育成する。	<b>●子育てサポーター養成講座 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</b> <b>【日程】</b> (案) <<講座>> 2日間 <<救命救急講習>> 1日間 <<子育て支援センター体験実習>> 2日間各3時間 <b>【内容】</b> 子どもの発達と遊び、乳幼児の健康と安全、食生活と栄養、子育て支援の現状など <b>【対象】</b> 市内在住の20歳以上の方、または市内小規模保育事業所に従事している方で、市内で子育てサポーターとして活動する意欲のある方や、子育て支援活動を行う予定のある方 <b>【定員】</b> 15人  ◇◆指標と実績◆◇ <b>【子育てサポーター人数】</b> 52人 <b>【子育て応援隊訪問数】</b> 42件	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進	子育てサポーター養成講座を開講 <b>【日程】</b> 9月5日4講座、9月6日3講座+演習、9月7日救命救急講習、他2日間各3時間ずつ子育てサポーターの育成を行っていく。	子育てサポーター養成講座を開講 <b>【日程】</b> 9月5日4講座、9月6日3講座+演習、9月7日救命救急講習、他2日間各3時間ずつ子育て支援センター体験実習を実施した。

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点			
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無				
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充	137 環境レンジャー活動への支援 環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成し、市内の行事に参加してもらうことで市民の環境保全活動への関心を高める。	●ネイチャー・イン企画の開催を行う。 4月24日(土) 利根川と布佐の里道を散策しよう 7月31日(土) ホテル観賞会 11月20日(土) 秋の谷津の自然散策 1月23日(日) 手賀沼船上冬鳥観察会 ●Enjoy手賀沼！2021 【日程】5月9日(日) コロナのためオンライン開催、出展なし ●市民のチカラまつり2021 【日程】9月25日(土) 缶バッジを作ってみよう 参加者40名 ●環境レンジャー通信「たまつけ」の発行 【発行日】4/15(80号) 10/15(81号) 1/15(82号) ●エコ・こども教室の開催 新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン配信(第26回あひこ子どもまつりHP内) ●次世代の環境レンジャーを育成するため、環境レンジャーサポーターを募集し、環境レンジャーに必要なスキルを習得する。 ◇◆指標と実績◆◇ ・環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成 【環境レンジャー人数】 10人(途中退会者・サポーター含まず)	A. 成果・効果があった ・環境ボランティアリーダーとして環境イベントを開催  環境レンジャー人数の減少	B. 改善・見直しを行う 環境レンジャー人数の減少により、単独でのイベントの開催が難しくなってきた。	定例会議・イベントの準備・開催を手賀沼課が補助し、助言を行う。	手賀沼課	
		138 緑のボランティアの森づくり 森づくり作業を通じて、自然に対する理解と愛着を深めてもらうとともに、市内に残る貴重な緑地を保全する。	●市民の森 & 古利根みどりのボランティア定例活動日 《古利根自然観察の森活動》【日程】偶数月第2土曜日、第4水曜日・奇数月第2日曜日第4水曜日 《古利根沼水辺の活動》【日程】毎月第3水曜日 《中里市民の森活動》【日程】奇数月第4日曜日 《岡発戸市民の森活動》【日程】偶数月第4日曜日 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加延べ人数】408人	A. 成果・効果があった 新型コロナ対策により活動回数を減らして実施したが、みどりのボランティアの協力により、古利根沼や斜面林の維持管理が適切に行われ、市民が自然を享受する場を提供することができた。	A. 現状どおり推進	なし		公園緑地課
		140 生涯学習審議会委員の研修 生涯学習や社会教育に関する知見を深めてもらうとともに、委員間の連携強化を図るため、研修会及び振興大会に参加する。	【実施回数】3回 生涯学習審議会の社会教育に関する知識を深めるため、東葛飾地区6市合同で研修会及び振興大会を行う。 ●東葛飾地区社会教育連絡協議会研修会 ※例年8月に行っているが、新型コロナ感染対策のため抱き合わせ会議が書面開催となったため中止 ●東葛飾地区社会教育振興大会 【日程】10月14日(水) 【場所】松戸市女性センターゆうまつど 【内容】「開かれ、つながる社会の実現をめざして」 ※新型コロナ感染対策のため中止 ●東葛飾地区社会教育委員・社会教育関係者合同研修会 【日程】1月19日(火) 【場所】流山市 ※新型コロナ感染対策のため中止  ◇◆指標と実績◆◇ 【生涯学習審議会委員の研修参加者数(延べ)】 ※新型コロナ感染対策のため0	C. 未実施・わからない ※新型コロナ感染対策のため中止	A. 現状どおり推進	事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。		

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
③学んだ成果を評価するしくみの構築		③学んだ成果を評価するしくみの構築			③学んだ成果を評価するしくみの構築		
143	市民参加型コンサート 市内音楽愛好家の交流の場と成果を発表する機会を提供するため、市内在住、在勤、在学等の方が出演するコンサートを開催する。	●市民参加型コンサート 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止  【事業名】トロイメロコンサート 【日程】令和3年8月8日(日)延期、令和4年3月6日(日)中止 【内容】出演者を公募し、合唱またはパーカッション、金管楽器、木管楽器のアンサンブル演奏会 【開催場所】湖北地区公民館 ホール ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】0人	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症対策を徹底的に行い、収容人数の制限なしに実施した。	文化・スポーツ課	
144	文化祭 多くの市民が参加し、文化芸術に触れ親しむ機会を提供するとともに、市民の文化芸術に関する関心を高める。	●市民文化祭 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小して開催  【内容】市民の手で市民が作る文化の祭典。 【日程】9月28日(火)～11月14日(日) 【開催場所】市民プラザ、つくし野コミュニティホール、我孫子北近隣センターつくし野館 【開催部門】 <展示部門> 絵画、書道、東洋蘭、北部地域、通信俳句、紙上短歌  <特別展示> 「ミシンキルト展～我孫子の風景～」作:奥富 則子さん 【日程】9月28日(火)～10月1日(金) 【開催場所】アビスタ2階壁面展示ケース ◇◆指標と実績◆◇ 【開催団体数】6団体	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症対策を徹底的に行い、全ての文化部門を実施する。オープニングイベントを開催する。	文化・スポーツ課	
146	めるへん文庫 子どもたちが創作活動に親しみ、また、豊かな感性を育むことができるよう、めるへん文庫の作品募集や入賞作品集の刊行、めるへん文庫の表紙絵・挿絵の原画展示を行う。	●めるへん文庫 【対象】全国の小・中・高校生 【内容】童話作品を募集し、優秀作品を表彰。教育委員会の主催で実施。 【募集期間】6月1日(火)～9月7日(火)  《表彰式》 【日程】令和4年2月27日(日)※コロナウイルス感染症のため中止 【受賞】小学生の部 1席1名、2席1名、3席5名 中学生の部 1席1名、2席1名、3席5名 高校生の部 1席1名、2席1名、3席3名 古登正子賞 1名  ※1席及び古登正子賞受賞作品を朗読し、YouTube配信を行った。 動画撮影・編集等は業者に委託し、朗読と朗読の挿入曲を白樺文学館の市民スタッフに依頼した。  ◇◆指標と実績◆◇ 【作品応募数】129編	A. 成果・効果があった 朗読動画のYouTube配信を行ったことで、より、子ども達の創作意欲の向上につながった。	A. 現状どおり推進	令和5年2月25日(日)表彰式	文化・スポーツ課	
147	(No.50再掲) 郷土芸能への支援					ポ 文 化 課	
148	(No.125再掲) 手賀沼エコマラソン支援事業					ポ 文 化 課	

基本目標 4 ③学んだ成果を評価するしくみの構築

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 5 学びでつながるまちづくり		基本目標 5 学びでつながるまちづくり				基本目標 5 学びでつながるまちづくり	
①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実		①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実				①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実	
149	市民のチカラまつりの実施 市民活動を活発にするため、市民と市民団体等とが交流できるマッチングイベントや講演会を実施する。	●市民のチカラまつり 【日程】9月25日～26日、企画部門に関しては令和3年7月～令和4年2月に団体ごとで分散開催 【場所】けやきプラザ(2階第1ギャラリー、ふれあいホール、我孫子南近隣センター、10階市民活動ステーション)アビシルベ、アビスタ・ストリート 【内容】展示・参加型企画・ステージ・シンポジウム・オンライン講演会を実施。企画部門は11企画を実施(7月から2月で分散開催)。 【参加者】来場者(けやきプラザ)434人(25日:299人、26日:135人)、オンライン企画参加者39人、参加団体45団体、企画部門参加者574人 ◇◆指標と実績◆◇ 【市民活動をはじめた人数】40人	A. 成果・効果があった 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・変更した企画がいくつかあったが催しが減らないよう実施可能なやり方を検討し実施することができた。 対面式の企画で一部感染症対策が不十分なものがあり、情報の共有ができていない部分があった。	A. 現状どおり推進 実行委員会形式で実施し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を見ながら対面式のイベントとオンラインのイベントを組み合わせ実施する。	多くの企画が感染症対策を講じながら対面式での開催となった。	市民協働推進課	
150	(No.61再掲) あびこ子どもまつり	※担当課の進行管理による				子ども支援課	
151	(No.62再掲) げんきフェスタ	※担当課の進行管理による				子ども支援課	
152	学校支援事業の充実 学校教育の内容を充実させ、その教育力の向上と子ども達の豊かな学びを実現するため、市内全小中学校で組織されている地域学校協働本部(旧学校支援地域本部)の活動を充実させ、地域住民・保護者・高大学生などによる学校支援ボランティアの拡充を図る。	・学校支援地域本部が中心となり、各関係機関・団体、高校・大学と連携しボランティア人材を確保する。 ・学校の教育活動に対する支援のニーズを把握するとともに、支援を受けたい活動の年間計画を作成する。 ・学校支援地域本部事業について、その目的を再度周知して学校全体として取り組むようにする。 ・中学校区でのコーディネーター活動が充実するよう、コーディネーター会議を定例化していく。 ・高校・大学と連携して、学生によるボランティア活動をさらに進められるようにする。 【場所】市内小中学校 19校 【実働人数】 ≪小学校≫延べ 19,676人 ≪中学校≫延べ 6,686人 ◇◆指標と実績◆◇ 【ボランティア活動実働人数】 26,362(小中学校延べ)	A. 成果・効果があった コロナ禍によってボランティアが学校に入ったり、子ども達と直接触れ合う機会が限られたため、ボランティア延べ人数は減少しているが、事業への実質的な満足度は継続されている。今後も学校のニーズとボランティア活動のコーディネートを推進したい。 令和4年度、学校運営協議会のスタートに伴う学校支援地域本部から地域学校協働本部への活動の広がりを緩やかに進めていく。	A. 現状どおり推進	学校運営協議会制度が発足し、学校支援地域本部が新たに地域学校協働本部となることにより、従来の活動に加え、ボランティア組織のさらなるネットワーク化と一方的な学校支援から学校と地域の双方向による協働・支援活動に取り組んでいく	指導課	
153	(No.22再掲) 生涯学習学習相談体制の整備					生涯学習課	
154	(No.66再掲) 長寿大学					生涯学習課	
155	(No.69再掲) 家庭教育学級					生涯学習課	
156	(No.70再掲) のびのび親子学級					生涯学習課	

基本目標 5 学びでつながるまちづくり



NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
158	<p>②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成</p> <p><b>在在外国人支援事業</b></p> <p>在在外国人が安心して快適に日常生活を送れるよう、我孫子市国際交流協会(AIRA)に日本語教室や相談窓口等、外国人の支援に必要な業務を委託する。</p>	<p>●外国人のための日本語教室 【日程】火曜日35回、土曜日35回 【開催方法】オンライン 【所要時間】1回あたり約1時間30分 【受講生】55人 【ボランティア講師】30人</p> <p>●外国人相談窓口業務 ・我孫子市国際交流協会内で市内に在住・在勤、在学の外国人からの相談を受ける。 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【相談件数】21件 【登録相談員】11人</p> <p>●外国語通訳派遣業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【通訳件数】36件</p> <p>●簡易な文書の翻訳業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【翻訳実績】「広報あびこ」主要記事の英訳(年12回、A4記事4ページ)、JBF関連文書の英訳、市内の文化財・施設等へ誘導の案内板の表記修正 英訳2枚 ◇◆指標と実績◆◇ 【外国人のための日本語教室開催数】70回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>●外国人のための日本語教室 新型コロナウイルスの感染を防ぐためオンラインにて講座を行い、在在外国人の日本語学習の機会を確保するとともに、一時帰国した学習者、海外に転居したボランティアも休むことなく授業に参加できた。</p> <p>●外国人相談窓口事業 日常生活や教育、病院、市からのお知らせ等に関する質問や問い合わせに第一次相談窓口としてAIRA事務局が対応した。専門的な内容については専門機関へつなぐことで、相談者の抱える問題解決に努めた。</p> <p>●外国人通訳派遣事業 新型コロナの影響により行事が例年どおり実施されなかったが、スロベニア国選手団のオリンピック事前キャンプが我孫子で行われたためこれに関連する諸行事に通訳派遣を行った。</p> <p>●簡易な文書の翻訳業務 市が発信する情報の英訳により、幅広い層へ情報発信することができた。</p> <p>外国人市民だけでなく、日本人を含めたすべての市民が安心して日常生活を送れるようにするため、必要な情報の多言語による発信や、生活に必要な日本語を習得するための支援が引き続き必要である。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>引き続き、在在外国人の生活支援に必要な業務をAIRAIに委託する。</p>	<p>②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成</p> <p>なし</p>	企画政策課
	<p>●公募補助金の運用 公募補助金は、地域のまちづくりを推進し、市民が行う自由な市民公益活動や生涯学習活動を支援するための補助金。交付期間は最長3年間。補助金の範囲は、補助対象経費の100分の10から100分の50まで。</p> <p>【応募資格】 営利を目的とせず、公益の増進に寄与する任意団体または特定非営利活動法人で、次の要件のいずれにも該当するものが対象。 ①5人以上で構成されていること。 ②活動拠点が市内にあり、かつ、市内で活動していること。 ③政治や宗教を主たる目的としないこと。 ④同一の事業・目的で市からほかの補助金を受けていないこと。また、市や市教育委員会と共催する事業・活動でないこと。 ⑤特定非営利活動法人は税金を滞納していないこと。 ⑥前年度(令和2年度)に活動実績があり、収支決算を提出できること。 ◇◆指標と実績◆◇ 【公募補助金交付件数】7件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市民が行う公益活動や生涯学習活動への活動支援を行った。</p> <p>【次年度申請分審査状況】 審査申請:3件 審査結果:採択 2件、不採択 1件</p> <p>制度の趣旨としては、交付団体に最終的に自立した運営をすること目的としているが、自立した団体は少ない。また、新規申請団体が減少しているため、申請がしやすいように制度の枠組みを見直す必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>現在の既存団体を支援するためには、現状のとおり推進をしていく方向ではあるが、制度開始後15年以上が経過していることもあり、制度内容の再検討は必要と考える。</p>	<p>なし</p>	市民協働推進課	

②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成  
基本目標 5 学びでつながるまちづくり

	NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容		令和4年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	160	市民公益活動補償制度の運用  市民活動に参加した者が活動中に障害等を負った場合や、市民団体が損害賠償責任を負った場合の補償を行い市民の活動を支援する。	市民活動に参加した者が活動中に傷害等を負った場合の補償を行い市民の活動を支援を行った。  【対象者】 主たる活動拠点が市内にあり、かつ、構成員が5名以上の団体(構成員の70%以上が市内に居住していることが必要)による「公益的な活動」が対象。ただし、日本国外の活動、営利・政治・宗教に係る活動を除く。 【補償の種類】 傷害、損害賠償  【支払】 ≪傷害≫ ・支払件数: 6件、未払い1件 ・支払金額: 1,018,000円 ◇◆指標と実績◇◆ 市民公益活動中の補償すべき傷害、賠償責任について補償する。  指標: 補償率 実績: 100%	A. 成果・効果があった  市民活動を支援していく側面として、活動中における補償も必要であるため支援を継続する。	A. 現状どおり推進	なし	市民協働推進課
	161	資源循環型社会に関する市民講座への派遣  資源循環型社会の構築に向けて、ごみ資源排出抑制等の情報提供や、環境教育を行う。	≪長寿大学≫ 【日程】令和3年6月10日(木)10:00~12:00 【場所】湖北地区公民館 【内容】「ごみと資源」その他事前質問に回答 【参加者】長寿大学 4学年(45期生) 42名  ◇◆指標と実績◇◆ 【最終処分量】2,758t 116.03% (目標値3,200t)	A. 成果・効果があった  廃棄物施策に対する市民の理解が深まった。  職員減による講師不足、解体工事等に伴う施設見学の一時中止	A. 現状どおり推進	なし	クリーンセンター
	162	我孫子市創業支援等事業  市内の起業・創業件数の増加を図るため、平成26年6月に国から認定を受けた「我孫子市創業支援等事業計画」に基づき、市内関連機関と連携しながら、起業・創業に関する相談業務や、ビジネス交流会、創業塾の開催等により、起業・創業者を総合的に支援する。	●『実践創業塾』 本格的な創業を目指す、実践的な起業コース。このコースは我孫子市の特定創業支援等事業で、受講後、市の終了証明書を受領すると下記のメリットが受けられる。※証明書は受講終了を証明するものでメリットを保証するものではない。 ・会社設立時の登録免許税軽減 ・無担保・第三者保証人なしの創業関連保証(金融機関の審査有り) ・日本政策金融公庫の新創業融資制度の要件緩和(金融機関の審査有り) ・我孫子市創業支援補助金の対象 【日時】令和3年5月30日(日)・6月13日(日)・6月27日(日)・7月11日(日) 9:15~17:00 【場所】生涯学習センターアビスタ ミニホール 【対象者・定員・参加者】起業を目指す方ならどなたでも。 定員20名 参加者23名 【費用】8,000円  ●『我孫子市ビジネス交流会』 ビジネスには交流の場が不可欠。これから起業を目指す方、既に起業し事業を行っている方を対象に開催。ビジネスパートナーとの出会いや、ビジネスのヒントを得る機会として開催。 【日時】令和4年3月5日(土) 13:30~15:30 【場所】オンライン開催 【対象者・定員・参加者】起業予定者、事業経営者、ビジネスの人脈を広げたい方。 定員20名 参加者9名  ●『起業個別相談会』 実践創業塾やビジネス交流会などの支援を受けた後、実際にスタートするまでの間に一人で苦労してなかなか起業出来ない方が多いことから、起業前の準備段階の時期に専門的な支援を実施することで、今後の起業件数の増加に繋げる機会として開催。 【日時】令和3年8月21日(土) 9:00~15:00 【場所】オンライン開催 【対象者・定員・参加者】市内でこれから起業する方、起業して5年以内の市内事業者 定員15名 参加者16名 【費用】無料 ◇◆指標と実績◇◆ ◇指標と実績	◇事業の成果(課題がある場合は課題も記入してください) A. 成果・効果があった  国の認定を受けた我孫子市創業支援等事業計画に定めた創業者目標数(令和3年度目標値:累計67名、実績値:累計64名)を概ね達成していることから、各施策共に効果があったと考える。 なお、事業の開催に当たっては新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン開催等の対策を講じて実施した。	◇今後の進め方 A. 現状どおり推進	◇前年度からの変更点(前年度実施した内容と特出して変更・改善していることを記入ください。)	企業立地推進課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容		令和4年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	163	<b>市民の学習活動への支援</b>  広報あびこ、ホームページ、生涯学習情報紙を通して、各課が実施している生涯学習関連事業や生涯学習に携わる人材や団体の情報、生涯学習イベント等の情報提供するとともに、市民からの学習に関する問い合わせに対応する。また、市民の技術・経験・知識が活用できるよう生涯学習団体グループの団体の活動内容等の情報を市のホームページ登録・提供し活用を図る。	生涯学習情報の発行とホームページを主とした情報の発信を行った。生涯学習団体グループについては、随時ホームページの掲載内容の更新を行った。  ◇◆指標と実績◆◇ 【生涯学習トップページのアクセス数】7,859件 【生涯学習情報発行部数】3,000部 【学習相談件数】209件 【新規登録数】人材情報：1人 団体情報：2団体	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課
	164	(No.25再掲) 視聴覚教材・機材の管理及び貸出					生涯学習課
	165	<b>社会教育団体活動支援</b>  市民と協働でまちづくりを進める中で、市民団体が行っている事業の共催及び後援等を行い、社会教育活動の活性化を図る。	●後援 市民団体の後援申請に基づき、18団体、18事業の後援を行った。コロナウイルス感染症蔓延のため、中止や延期の事業があった。  ◇◆指標と実績◆◇ 【後援事業数】18事業	A. 成果・効果があった 後援18事業を行い、市民の社会教育活動の一助となった。	A. 現状どおり推進	事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課
	166	<b>文化芸術団体活動支援</b>  文化芸術団体の活動を支援し、我孫子市の文化芸術活動の活性化を図る。	文化団体が主催する活動について、後援、協力等の支援を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【協力事業数】11件 【後援事業数】54件	A. 成果・効果があった 文化芸術団体等が実施している事業の支援を行うことにより、活動の活性化が図れた。	B. 改善・見直しを行う 受益者負担の観点からも、共催扱いとしている事業の精査を行う。	なし	文化・スポーツ課
	167	(No.95再掲) スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～					文化・スポーツ課
168	<b>施設・団体への図書等の貸出サービス</b>  市内団体の自主活動や学級文庫活動を支援して、子どもたちの読書活動と市全体の読書環境の向上を図る。	○学級文庫への寄贈・貸出…学校図書館の充実や移動図書館の学校巡回により、学期ごとの貸出を終了し、貸出に使っていた本を除籍して希望のあった市内小学校に寄贈した。(特別支援学級への貸出は継続。40冊まで、学期間。) ○各種団体への貸出…家庭文庫・読書会をはじめ、保育園、幼稚園、学童保育室、ボランティア団体、福祉施設などの各種団体に対し、200冊まで2か月の期間で、依頼のあった場合に随時貸出をした。 ○読書会への十冊文庫の貸出…読書会に県立図書館の十冊文庫を提供した。10冊、約4週間。 ○庁内支援サービス…市役所各課の政策立案・企画等に必要図書資料の貸出や情報提供を行った。(図書・雑誌40冊まで、期間1ヵ月。CD・カセットテープは10点まで、期間2週間)  【団体の年間利用数】789回 ◇◆指標と実績◆◇ 【年間団体貸出冊数】15,032冊(前年度比95.1%)	A. 成果・効果があった 団体貸出サービスは、団体数・団体貸出冊数ともに一定のレベルを維持している。市内団体の自主活動や子どもの読書環境を支援するためにも必要な事業であった。  市民の学習機会を充実させるために、重要な事業であるため、今後も引き続き推進していく。	A. 現状どおり推進 今後も引き続き、団体貸出サービスの利用の促進を図っていく。	なし	図書館	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容		令和4年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 5 学びでつながるが、まちづくり	169	鳥に関する学習への支援  鳥に関する正しい情報を提供するため、常設展示室、企画展示室にて鳥に関する解説を学芸員や市民スタッフ展示交流員が行う。多目的ホールのバードボックスの使い方もレクチャーするとともに、鳥に関する質問を電話、手紙、館内などで随時受け付け、博物館資料を使った大学院生などの研究への協力も行う。	夏休みの自由研究に関して、昨年度の鳥に関する研究の優秀作品の展示に加え、今年度も学芸員による相談受け付けを行った。また、博物館資料の活用では、他施設(博物館)への貸出、および調査研究への協力も行った。  ●市民スタッフによる展示交流 令和3年度においては新型コロナウイルス感染拡大防止の為活動を中止した。  ●鳥に関する質問対応 鳥に関する質問を電話、手紙、館内などで随時受け付けた(通年)。 【問合せ件数】年間181件(夏休みの自由研究に関する質問対応も含む)  ●調査研究への協力 博物館資料(剥製)の貸出・閲覧を行った(通年)。 【館内】27件(184点) 【館外】2件(20点)	C. 未実施・わからない  令和3年度においては新型コロナウイルス感染症対策のため展示解説を中止した。しかし、鳥に関する質問については電話・手紙・館内で随時受付を行った。	A. 現状どおり推進	なし	鳥の博物館
	170	鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援  市民スタッフが、環境学習リーダーや来館者へのガイド役として活躍するように支援する。また、友の会の行う友の会展や鳥類に関するあらゆる生涯学習の活動について支援を行う。	●市民スタッフ(24名) 環境学習リーダーや来館者へのガイド役として必要な体験や学習を習得するための支援を行う。 令和3年度においては新型コロナウイルス感染症対策の為、活動を自粛した。 【活動内容】夏の遊びと研究大集合(7月25日から8月29日までに全5回実施)  ●友の会(243名) サークル活動への場の提供や情報提供による支援を行う。 新型コロナウイルス感染症対策の為、参加人数を減らして活動を行った。  ◇◆指標と実績◆◇ 【友の会・市民スタッフ登録者数】 指標:320人 実績:267人	A. 成果・効果があった  新型コロナウイルス感染症対策の為、市民スタッフの館内の展示交流事業を行うことが出来なかった。友の会の活動も制限されたが、状況に応じて各同好会の活動は行われ、「友の会展」(R3.12.11～R4.1.16)を開催した。	A. 現状どおり推進	なし	

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築							
171	<b>我孫子市国際交流協会（AIRA）との連携</b>  国際交流の場を提供し地域の国際化を推進するため、我孫子市国際交流協会（AIRA）と共催であびこ国際交流まつりと国際交流スピーチ大会を開催する。	<b>●国際交流スピーチ大会</b> 新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止  <b>●第29回あびこ国際交流まつり</b> 【日程】11月28日（日） 【場所】市民プラザ・オンライン 【内容】 外国出身者の料理レシピ紹介（中国、ベトナム、タジキスタンなど）、中国の人形制作、台湾茶あれこれ、韓国の観光案内、日本語教室の紹介、日本と中国の書道、AIRAの活動紹介等の動画上映と展示、「来日外国人に聞く」 ◇◆指標と実績◆◆ 【国際交流イベントの共催】 1件	A. 成果・効果があった  多文化共生の必要が高まる中、日本人と外国人市民の相互理解が深まる機会の創出、それらの活動を行う団体への支援ができた。  外国人も暮らしやすいまちを実現するために、異文化への理解を深めることや、コミュニケーション能力、国際感覚を身につける活動に対し更なる支援を行って行くことが必要である。	A. 現状どおり推進  引き続き、AIRAと連携しながら事業を実施していく。	なし	企画政策課	
172	<b>消費生活展の実施</b>  消費者自らがトラブルを未然に防ぐ知識を身につけられるよう、関係する団体や機関と連携して消費生活展を開催し、消費者への啓発を図る。	<b>●第46回我孫子市消費生活展</b> 【日程】令和4年2月5日、6日 【場所】あびこ市民プラザ 【テーマ】持続可能な社会を目指して～今、始めよう！SDGs 【参加団体】我孫子市消費者の会、あびこ型「地産地消」推進協議会、NPO法人手賀沼トラスト、エコビュアあびこ、NPOせっけんの街、我孫子市石けん利用推進協議会、エコライフあびこ、我孫子市男女共同参画室・あびこ女性会議 【来場者数】182名 【対象者】市内外の消費者 ◇◆指標と実績◆◆ 【参加団体】我孫子市消費者の会、あびこ型「地産地消」推進協議会、NPO法人手賀沼トラスト、エコビュアあびこ、NPOせっけんの街、我孫子市石けん利用推進協議会、エコライフあびこ、我孫子市男女共同参画室・あびこ女性会議  【来場者数】182名	A. 成果・効果があった  令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により規模を縮小して行うこととなり、当初予定していた催し物（科学遊び、プリプリ石けんづくり、ミニコンサート、家庭の省エネ診断コーナー、スタンブラリー等）は行わず、パネル展示のみを行った。	A. 現状どおり推進  事業としては、現状どおり推進すべきと考えているが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、感染対策を講じて行う必要がある。	なし	商業観光課	
173	<b>エンジョイ手賀沼</b>  市民団体・事業者・行政で実行委員会を組織し、手賀沼の浄化・再生を広く市民に呼びかけるイベントを開催する。	<b>●Enjoy 手賀沼！2021</b> 画面の前で全集中！手賀沼の胸キュン♥お届けします！～ WEBサイト 令和3年4月19日（月）から 水の館1階手賀沼ステーション 令和3年4月19日（月）から5月16日（日）まで ◇◆指標と実績◆◆ 【来場者】YouTubeチャンネル視聴回数443回 メッセージカード 192枚	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進  現状どおり推進	2022は現地開催を行う。	手賀沼課	
174	(No.30再掲) <b>健康フェア</b>					健康づくり課	
175	(No.45再掲) <b>ジャパンバードフェスティバルの開催</b>					観手賀沼物産課	

基本目標 6 学びでつながるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
176	青少年相談員連絡協議会への支援 青少年相談員連絡協議会が実施する子どもの自主性、協調性を育む事業や会議運営について支援していく。	新型コロナウイルスの影響により実施事業なし。 ◇◆指標と実績◆◇ 指標: 楽しく有意義な体験ができた子どもの割合 実績: 0% ※コロナ禍の影響を受け、事業を実施していない。	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進 新型コロナウイルスの影響を考慮しながら、ポッチャ大会等の青少年相談員事業が実施できる状況となった場合には積極的に支援していく。	なし	子ども支援課	
177	(No.41再掲) 子どもの居場所づくり事業 (あびっ子クラブ)	※担当課の進行管理による				子ども支援課	
178	子育てフェスタ 我孫子で子育てを楽しめる場所や子育て支援活動を紹介するなど、「子育て」をキーワードに家族で子どもの成長を感じられるとともに、多世代をつなげるイベントを開催する。	●ママへのごほうびフェスタ 【場所】アビクオーレ全館(イトーヨーカドー我孫子南口店) 【日程】9月25日(土) 【内容】我孫子市内の子育てに関する施設やサークル・団体の紹介展示  ◇◆指標と実績◆◇ 【イベントの参加者】 ●ママへのごほうびフェスタ: 343人	A. 成果・効果があった 子育て支援活動の紹介や市内の子育て関連施設を紹介することで、子育てに関する情報提供の場となった。また、ホールでのイベントはヨガや歌あそびコンサートを実施し、保護者のリフレッシュの時間となった。  企業による体験コーナーやアビホールでのイベント、市内団体によるブースでの実演も再開したが、例年の半数以下だった。新型コロナウイルス感染症の動向を考慮しながら次年度の計画を進めていく。	A. 現状どおり推進 子育てを楽しめる場や、子育て支援活動等についての情報提供を行っていく。	ママへのごほうびフェスタ2022を9月24日(土)に開催した。 アビホールでのイベントを再開し、午前はヨガ講習、午後は親子コンサートを実施した。 来場者数: 延べ1,938人	保育課	
179	学校評議員設置事業 小中学校に学校評議員を置き、保護者や地域住民等と連携しながら、地域に開かれた学校づくりを推進する。	学校が、保護者や地域住民等の信頼に答え、家庭や地域と連携して一体となって子供たちの健やかな成長を図っていく観点から、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくため会議を開催した。 【開催場所】 市内全小中学校 19校 【日程】 第1学期(4~7月)に1回、第2学期(9~12月)に2回、第3学期(1~3月)に1回、年間4回実施 【対象】 評議員は、保護者、地域住民、有識者、公募の市民、校長が必要と認める者 市教育委員会委嘱の各小中学校評議員数による(5~8人) 他に校長・教頭・教務主任等が参加  ◇◆指標と実績◆◇ 市内各小中学校19校で、年4回実施。 評議員数 小学校 71人 中学校 35人	A. 成果・効果があった 各学校において、保護者や地域住民、有識者、公募の市民等それぞれの立場から、社会情勢と学校教育を結び付け考えた意見を出してもらい、学校経営に生かすことができた。	C. 廃止・休止 コミュニティ・スクール(学校運営協議会の設置)の導入による学校と地域との連携・協働体制の構築へ移行。(令和4年度より指導課管轄)	なし	学校教育課	
180	大学との協定による学校支援 学生ボランティア事業 高校への協力要請や大学との協定締結によって、学生ボランティアを小中学校における学習補助や行事等の支援者として派遣し、子ども達の豊かな学びを実現するとともに、教員等を目指す人材の育成を図る。	【日程】通年 【場所】市内各小中学校 【内容】学習支援、行事支援、部活動指導補助など 【対象】小中学校の児童生徒 【派遣状況】 【大学別実働人数】 《川村学園女子大学》 139人 《中央学院大学》 29人 《その他の大学・高校》 129人 ◇◆指標と実績◆◇ 【実働人数】 297人	A. 成果・効果があった 市内の2大学では、ボランティアに関する授業単元や担当者を設定し、取り組んでくれている。今年度コロナ対応のため、縮小及び中止の学校行事や授業もあったが、確実に学生に周知され広まってきている。  コロナ禍のボランティアの実施方法の工夫	A. 現状どおり推進	大きく変更はないが、学校支援だけではなく、教育委員会が主催する子ども達のための行事等にも積極的に学生ボランティアを導入していく。	指導課	

基本目標 5 学びでつながるまちづくり  
③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築

	NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	181	<b>キャリア教育の推進（小中学生の職場体験学習事業）</b>  子ども達が地元の協力事業所において、大人達と共に働く経験をすることによって、働くことの大切さや意義を感じとり、希望を持って将来を考えたり、我孫子の良さを感じたりできるよう、地域社会・家庭・学校が連携し合って職場体験学習を実施する。	<b>●職場体験学習</b> 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を中止。例年は、全ての中学校で職場体験学習を実施している。  <b>●特別活動を要としたキャリア教育</b> 「我孫子市キャリア・パスポート」を全小中学校にて完全実施し、教育活動の全てをとおしてキャリア教育を実施。  <b>●キャリア教育担当者会議</b> 各小中学校のキャリア教育担当教諭と指導課担当による担当者会議を年1回5月に実施する。 <b>◇◆指標と実績◇◆</b> 【小中一貫教育におけるキャリア教育のカリキュラムに即して、自校のキャリア教育全体計画の中に職場体験学習等の体験学習を位置づけた学校数】 19校  【協力職場数】 0箇所(令和3年) 0箇所(令和2年) 480箇所(令和元年)	A. 成果・効果があった  小中一貫教育及び新たに作成した「我孫子市キャリア・パスポート」の完全実施により、教育活動の全てを通してキャリア教育を推進しており、発達段階に応じたキャリア教育が展開されつつある。  感染症の流行や災害による影響を乗り越えて、キャリア教育を行うためにはどのような方法があるかを見出し、検討していく必要がある。また協力企業の募り方なども考えていく必要がある。	A. 現状どおり推進  小中一貫教育と合わせて「我孫子市キャリア・パスポート」を活用し、小学校から高等学校までの期間を通してキャリア教育を推進する。	今年度、職場体験を実施した中学校は白山中学校1校のみであった。ただ、生徒は自分の保護者が勤めている勤務地での体験することを基本とした。また、体験学習を実施しなかった中学校に関しては職業講話を行った。	指導課	
	182	<b>生涯学習審議会の運営</b>  生涯学習を総合的に推進するための組織として審議会を運営し、生涯学習に関する計画や施策、事業などについて意見を聴いていく。	<b>●生涯学習審議会会議</b> ≪第1回≫【日程】12月27日(月) <b>【議事】</b> 1 令和2年度及び令和3年度 実施計画事業調査について 2 その他 ≪第2回≫【日程】3月31日(木) <b>【議事】</b> 1 公民館のあり方について 2 図書館のあり方について ※書面開催  <b>◇◆指標と実績◇◆</b> <b>【審議会開催数】</b> 2回	A. 成果・効果があった  公民館のあり方、図書館のあり方を策定した  コロナ禍のため書面開催となり、公民館のあり方や図書館のあり方を策定するのに委員からの意見徴収を書面で行うなどの手間があった。	A. 現状どおり推進	任期満了に伴う委員の選出や公募を行う事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	生涯学習課	
	183	(No.126再掲) 市外図書館・大学・関係機関との連携協力					図書館	
	184	<b>図書館実習生受入・施設見学</b>  中学生のキャリア教育を受け入れることにより、今後の進路や職業選択の際の目安や目標になるように支援する。図書館現場で実務の研修を行うことにより、司書課程受講者を支援する。施設見学を受け入れ、生涯学習施設である図書館をPRする。	<b>○「職場体験学習」≪中堅教諭等資質向上研修≫≪インターンシップ≫≪施設見学・町探検≫等を受け入れた。</b> <b>&lt;事業&gt;</b> ○アビスタ探検隊(市内小学校3年生対象) 9校 656人 ○町たんけん・町はっけん(市内小学校2年生、3年生) 5回 124人 ○施設見学 2団体 68人 ○インターンシップ(高校生、大学生) 14人 ○社会教育実習生(大学生) 1人  <b>◇◆指標と実績◇◆</b> <b>【アビスタ探検隊参加者・図書館見学参加者・実習生受入人数の合計】</b> 863人(前年度 253人)	A. 成果・効果があった  コロナ禍は続いているが、感染対策を施しコロナ禍前の受入実施に戻ってきた。将来の進路や社会活動の参考となるように、小中学生のキャリア教育、高校生や大学生のインターンシップ、施設見学等を受け入れ、若い市民が貴重な経験をえられる機会を創出できた。  図書館業務には専門的なものもあり、年齢等に応じてより興味がわくように、実務的な体験プログラムを組む必要がある。	A. 現状どおり推進  キャリア教育の一環として実施されている体験学習の重要性はますます高まっている。将来の進路や職業選択の参考となるよう、これからも市民を支援していくことは必要不可欠であり、今後も現状どおり推進していく。	なし	図書館	

NO	事業名 趣旨・目的	令和3年度実施内容			令和4年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
③ 多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築 基本目標 5 学びでつながるまちづくり	185 山階鳥類研究所との連携・交流  テーマトークという形式で、山階鳥類研究所研究員による最新の研究成果や知られざる鳥の生態などについて、研究者の視点でやさしく紹介する。また、ジャパンバードフェスティバル期間中に「鳥学講座」を山階鳥類研究所と共同で開催し、最前線で活動する研究者に研究内容を一般向けにわかりやすく紹介してもらう。	<p>●テーマトーク(9月と11月を除いた毎月第2土曜日午後13時30分から14時15分まで)新型コロナウイルス感染症拡大によりオンラインセミナー形式で実施</p> <p>《第1回》4月17日、「その足環、いつ付けた?鳥類標識調査でわかる長期生存」【最大同時視聴者数】145人 《第2回》5月15日、「ここまでわかった!東アジアのガン類の渡り」【最大同時視聴者数】107人 《第3回》6月19日、「冬眠に似た体温低下、トーパーとは?」【最大同時視聴者数】66人 《第4回》7月17日「鳥の剥製作りを見てみよう」【最大同時視聴者数】280人 《第5回》8月21日「いかに自分の遺伝子を残すか〜シジュウカラの繁殖戦略〜」【最大同時視聴者数】204人 《第6回》10月16日「ヤマシギの越冬期の暮らし」【最大同時視聴者数】135人 《第7回》12月8日「山階博士が作った図鑑 こんな資料が残っていました」【最大同時視聴者数】55人 《第8回》1月15日「標本から鳥の換羽を調べる—先島諸島産のキンバトの調査」【最大同時視聴者数】80人 《第9回》2月19日「さまざまな鳥の渡り—鳥の渡り研究の発展とよもやま話—」【最大同時視聴者数】138人 《第10回》3月19日「DNAから明らかになったキジバトの進化史」【最大同時視聴者数】146人</p> <p>●鳥学講座 新型コロナウイルス感染症拡大によりオンラインセミナー形式で実施 【日程】令和3年11月6日(土) 【内容】「センカクアホウドリ」発見記 【講師】江田真毅さん(北海道大学総合博物館) 富田直樹さん(山階鳥類研究所保全研究室) 【最大同時視聴者数】133人 ◇◆指標と実績◆◇ 【共催した講座等の数】 指標: 11回 実績: 8回</p>	A. 成果・効果があった 協力関係にある山階鳥類研究所の研究成果と研究の面白さを、分かりやすく市民に紹介することができた	A. 現状どおり推進	なし	鳥の博物館	
	187 学校運営協議会制度の活用  学校経営方針や小中一貫教育の目標やビジョンを地域住民等と共有し、学校の応援団を増やし、地域と一体となって子供たちを育み、地域と共に歩む学校を推進する。	<p>布佐中学校区3校(布佐小学校・布佐南小学校・布佐中学校)にて、学校運営協議会を試行実施。</p> <p>【会議の開催数】4回(うち、中学校区で合同開催 2回) 【場 所】第1回・第4回 布佐中学校(3校合同) 第2回・第3回 各小中学校 【内 容】 ・各学校運営の基本方針の承認 ・中学校区小中一貫教育の基本方針(グランドデザイン)の見直し ・各学校及び中学校区における課題等の共有・協議 ・各学校における学校評価 ・次年度中学校区小中一貫教育の基本方針(グランドデザイン)の承認 等 ◇◆指標と実績◆◇ 令和3年度は試行実施のため、設定なし。</p>	A. 成果・効果があった 学校運営協議会の運営にあたって、1年間の大きな流れを掴むことができた。令和4年度からの、市内19小中学校への設置にあたって、先行事例を作ることができた。  学校運営協議会が自立した組織として運営するためには、委員の理解促進のための研修会の実施や、また運営するための事務機器等の整備が必要であることがわかった。	令和3年11月30日公示の我孫子市学校運営協議会規則に基づき、市内19小中学校に学校運営協議会を設置する。学校運営協議会委員については、各学校長の推薦をもとに、我孫子市教育委員会が任命し、令和4年4月1日付で任命する。	○市内19小中学校に学校運営協議会を設置。 【会議の開催数】目安は4回以上(うち、中学校区で合同開催をするところもある) 【場 所】各小中学校(中学校区合同開催の場合は、中学校区内で会場校を決めて開催) 【内 容】 ・各学校運営の基本方針の承認 ・中学校区小中一貫教育基本方針(グランドデザイン)の承認 ・各学校及び中学校区における課題等の共有・協議 ・各学校における学校評価 ・次年度中学校区小中一貫教育の基本方針(グランドデザイン)の承認 等 ○学校運営協議会委員任命式 ○学校運営協議会委員を対象とした研修会の実施	指導課	